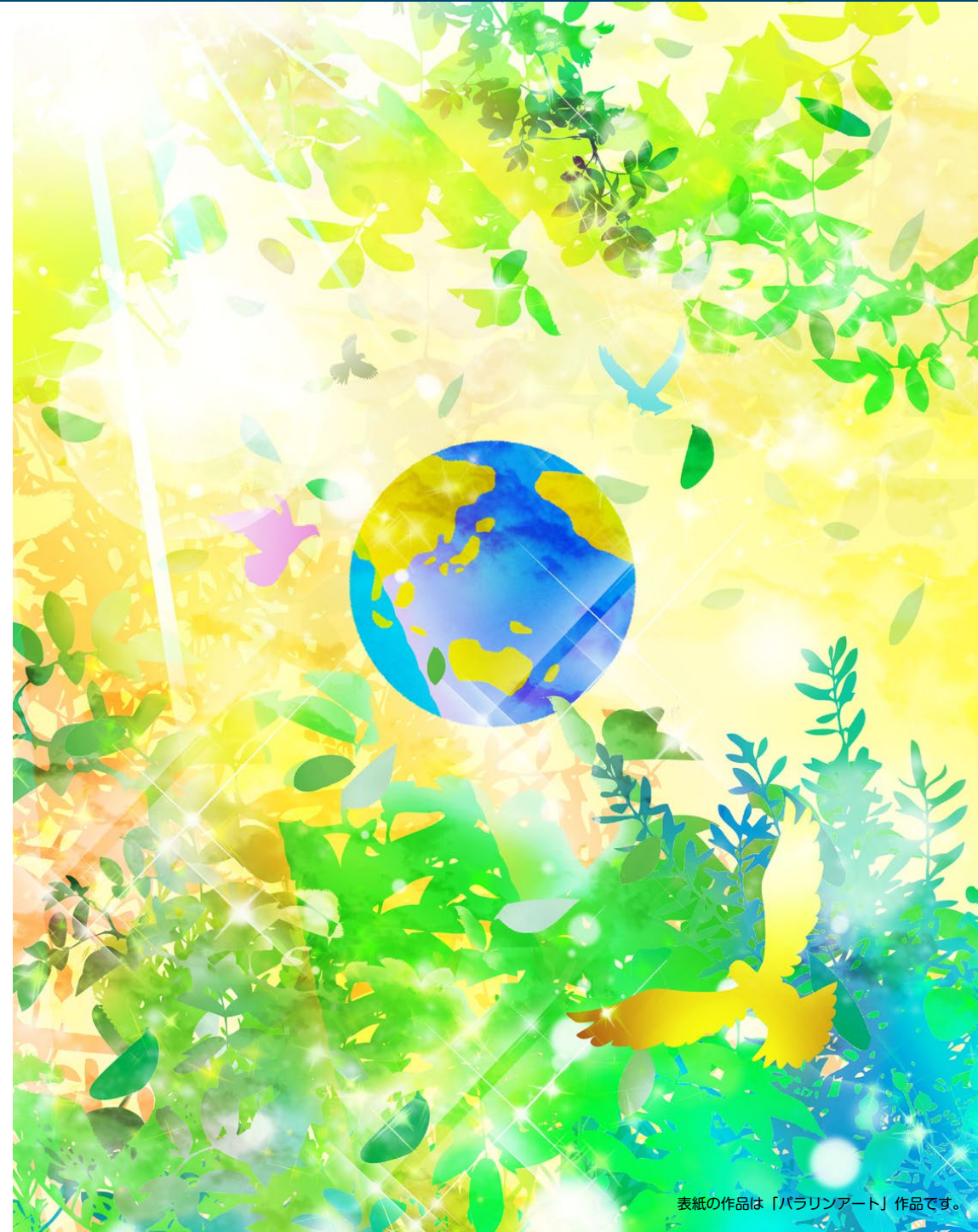


▲ トップにあるバーをクリックすると目的のページに移動できます。 ▲

すべてのステークホルダーの皆様のために

# 2021 社会・環境報告書

**TOMOE***G***AWA**



## 目次

## 目次

目次 / 編集方針 / 参考ガイドライン	2
社長メッセージ	3
TOMOEGAWA グループの企業理念	4
TOMOEGAWA のSDGs への取り組み	4

## 特集

## 特集「変革を加速」

TOMOEGAWA グループ新型コロナウイルス対策	5
新製品開発	7
オンライン展示会で製品・技術をPR	8
従業員の働きやすい環境づくり	9
TOMOEGAWA を世界にPR するために	11

## 経営情報

## TOMOEGAWA 会社概要

会社概要 / 事業内容	12
TOMOEGAWA の経営体制 (2021年度)	13
TOMOEGAWA グループ各社	14

## 組織統治

## ● 企業統治・コンプライアンス

TOMOEGAWA のコーポレート・ガバナンス体制	15
---------------------------	----

## ● TOMOEGAWA のグループ活動

TOMOEGAWA グループとして理念や方針、情報を共有	18
国内グループ会社の活動	19
海外グループ会社の活動	21

## ● 社内技術交流・評価技術

開発フォーラム & Award	22
評価技術 — 巴川分析センター —	23

## 環境

## ● 環境活動

環境保全活動	24
サプライチェーンへの働きかけ	25
環境行政への対応	25

## ● 化学物質管理・安全保障輸出管理

化学物質管理と製品安全性	26
安全保障輸出管理	27
規制物質管理対応	27

## ● 生物多様性・社有林

事業運営における生物多様性への取り組み	28
社有林での保全活動	29

## ● 環境データ

INPUT・OUTPUT【生産活動における物質収支】	30
各種環境データ	31

## 消費者課題

## ● ISO

ISO マネジメントシステム運用	32
------------------	----

## 労働慣行

## ● 人財育成

人材 = 人財 = 当社一番の「宝物」	34
---------------------	----

## ● 改善活動

TOMOEGAWA グループでの改善活動	37
----------------------	----

## ● 安全・防災・BCP

安全衛生の取り組み	39
防災の取り組み	41
BCP の取り組み	42

## コミュニティへの参画

## ● 地域社会貢献

地域貢献活動	43
--------	----

## その他

花プロジェクト — TOMOEGAWA を明るく元気に!! —	46
私たちが考えるステークホルダー	46
編集メンバー紹介	47
表紙について	47

## ▶ 編集方針

当社および当社グループのCSR 活動をご紹介する「社会・環境報告書」は、今年で 16 回目の発行となります。記事の構成は ISO26000（企業の社会的責任に関するガイダンス規格）の 7 つの中核課題にあわせた配置としました。「公正な事業環境」は「組織統治」に、「人権」は「労働慣行」に含めました。

今回より各中核課題ごとに、当社の取り組みに関連する SDGs の目標を示しました。

皆さまからのご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

## ▶ 報告組織の範囲

本文中で「TOMOEGAWA」「当社」と記載している場合は、(株)巴川製紙所（単体）を表しています。

## ▶ 参考資料

- 環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」
- ISO26000:2010

## ▶ 報告対象期間

2020 年度（2020 年 4 月～2021 年 3 月）の、当社及び当社グループの社会・環境活動を中心に、一部それ以前の取り組みと、その前後の活動報告を含みます。

## 2021年度 社長メッセージ

# 時代のニーズに対応する新しい価値を創出するため さまざまな変革を加速させています

代表取締役社長 **井上善雄**

TOMOEGAWAの事業活動における行動原理は、次の「創業精神」にすべて集約されています。

### 誠実

我々は事業に対しても、人に対しても誠実を旨とする

### 社会貢献

我々は事業を通じて社会に貢献する

### 開拓者精神

我々は開拓者精神をもって事業に挺身する

この創業精神のもとで、私たちは「グローバルに展開する全員参加の開発型企業」を目指し、お客様の成功と発展を支える最良のパートナーとして、時代のニーズに対応する新しい価値を創出し続けてまいります。

2020年度は、世界的に大きな影響をもたらしている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の脅威と対峙した1年でした。

新型コロナウイルス感染症に伴う急速な環境変化があった中、感染リスク対策に加え、事業運営面では、米国トナー工場の閉鎖、洋紙事業における抄紙設備集約、営業拠点の集約、グループ経営の強化などの「変革」をスピード感をもって推進してまいりました。

本誌では特集として「変革を加速」をキーワードに「新型コロナウイルス対策」、IT戦略ツールの活用やライフワークバランスによる「働きやすい環境づくり」への取組み、「新製品の開発」、「オンラインを活用したPR活動」を通じた、社会・環境への取り組みの一端を紹介しております。

現在のところ、グループ会社を含めTOMOEGAWAでは感染症対策が功を奏し、感染状況については一定の成果が得られています。

ワクチンの職域接種への対応については、東京本社は6月30日から接種が始まります。また、静岡地区は7月末からの開始を予定しております。

今後も引き続き危機管理対策を推進してまいります。

新製品開発については、熱・電気・電磁波コントロール材料「iCas®」ブランド製品として、新型静電チャック、高性能ヒートシンク、フレキシブル配管ヒーターなどが順調に立ち上がりつつあり、半導体製造装置の省エネルギー化への貢献が期待できます。本誌では、JAXA種子島宇宙センターにおいて実証実験がスタートしたドライエアユニットと、熱伝導性と電磁波吸収性の課題を同時に解決するグリースの開発品をご紹介します。

SDGsへの取り組みでは、当社は開発型企業として環境



負荷低減をもたらす新製品を開発することによって貢献していくことを基本戦略とし、環境配慮製品としてセルロースマイクロファイバーを配合した樹脂「グリーンチップ® CMF」の製品開発を進めております。また、熱や電気のコントロール性能を向上させた「iCas®」ブランド製品はお客様にご使用いただくことによりエネルギー使用量の削減への貢献が可能となります。

もちろん、戦後直後から手掛けて参りました山林経営によるCO<sub>2</sub>吸収、治山治水効果を通じた社会貢献も継続してまいります。

また当社は、コンプライアンス遵守、安全衛生、人材育成及び人材の多様化などにも継続して取り組んでおり、本誌のなかでこれらの活動内容を紹介しております。

TOMOEGAWAは、全てのステークホルダーの皆様との対話を重視し、説明責任を果たしながら、強固な信頼関係をさらに高めていく所存です。

引き続きTOMOEGAWA及びグループ企業への、ご指導、ご鞭撻、ご支援を何卒よろしくお願いいたします。

# 企業理念 / SDGs への取り組み

## TOMOEGAWA グループの企業理念

「グローバルに展開し成長する全員参加の開発型企业」を目指し活動している TOMOEGAWA グループの理念です。



### SDGs (持続可能な開発目標) とは

持続可能な開発目標。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。



## TOMOEGAWA の SDGs への取り組み

開発型企业として材料開発を通じてイノベーションを推進し、CO<sub>2</sub>削減、エネルギー問題、気候や環境保全に貢献していきます。

当社は5Gやカーエレクトロニクス等の普及、DX推進により多くの電子機器・部品で求められている高電圧、大電流、高周波に適応するため、「熱・電気・電磁波」をコントロールするさまざまなソリューションを「iCas®」ブランドとして提供しています。中でも、熱、電気のコントロール性能を向上させた製品は、お客様にご使用いただくことによりエネルギー使用量削減への貢献が可能となります。

また2020年に、ポリプロピレン (PP) 樹脂にセルロースマイクロファイバーを高配合 (最大55%) した新材料「グリーンチップ® CMF」をエフピー化成工業株式会社 (静岡県富士市) と共同開発しました。セルロースマイクロファイバーは再生可能な植物由来材料であるセルロース繊維をマイクロファイバー化した材料です。PP樹脂に配合することでPP樹脂のみの場合と比較して、強度・耐熱性を向上でき、石油由来樹脂の使用量も低減できます。ベースとなる樹脂に、ポリスチレン (PS) やポリエチレン (PE)、さらに、ゴム、エラストマー、生分解性樹脂を検討するなど、さらなる環境配慮性の向上を図っています。



グリーンチップ® CMF

これらに加え、抄紙技術を活用した「コンバージョンシート」や「機能性担持シート」など、廃棄物削減、有害化学物質対策に貢献できる製品開発を多数進めています。

また、当社は現在、和歌山県、三重県、奈良県の紀伊半島に3,031haの社有林を保有し、かつてパルプ原料調達により伐採された跡地に植えたスギ・ヒノキを対象に保育事業を行ってまいりました。成長した立木は伐採して活用し、その後は再び苗木を植え循環させる持続可能な森林経営を目指しています。

今後も、個々の目標の重要性を認識し、持続可能な社会の実現に貢献すべく、取り組みを進めてまいります。

## 特集「変革を加速」

### TOMOEGAWA グループ 新型コロナウイルス対策

## 新型コロナ対策委員会を設置し 会社と従業員を守る施策を徹底



3 密対策ポスター例

2020年度は新型コロナウイルスが世界規模で拡大し、事業運営の安定やステークホルダーの健康・安全確保が強く求められました。

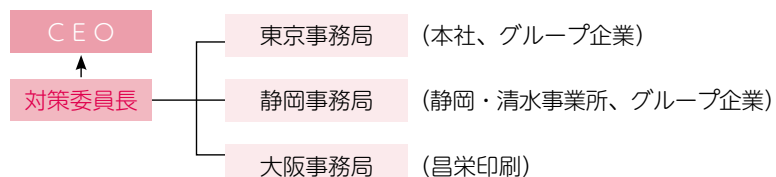
TOMOEGAWAでは「事業活動や業績に与える損害を最小限に抑えつつ、ウイルスによる脅威から会社と従業員を守ること」を目的として、ウイルス感染状況の変化に

合わせて対応を実施しました。

その司令塔として、2020年4月より「新型コロナウイルス対策委員会」を設置し、刻々と変化する情勢に対応してきました。

現時点（2021年6月30日現在）では、業績も回復し、感染状況についても一定の成果が得られています。また、職域接種については、行政への登録が順調に進んでおり、東京本社（対象者約100名）は6月30日から第1回目の接種が始まります。静岡地区（対象者約1,100名）は7月末からの開始を予定しています。特に静岡地区では、ワクチンの残数予測によっては、従業員の家族や近隣住民など対象者拡大を検討します。

### 新型コロナウイルス対策委員会 組織図



### インタビュー

## 全員が危機感を共有し、 ガイドラインを守ることが大切

新型コロナウイルス対策委員長 執行役員 川島 浩志



原則、週1回のWebミーティングには、社長以下、カンパニー長、執行役員、グループ企業代表が必ず参加しています。ミーティングでは、現状把握、政府や自治体の方針に従った社内対応の決定を行ってきました。事業所の所在地ごとに感染拡大状況が異なり、「事業継続」・「社員および家族の健康と安全確保」の観点から、地域別に対応をとってきました。

政府、自治体のガイドラインはしばしば変更されるため、社内での整合をとることにとても苦労しました。そのため、共通のルール、地域ごとのルールと柔軟性を持って対応しています。ルールを従業員にどのように伝え、浸透させるかが課題でした。会議はWEBのみとし、発生初期には事業部間の建屋の移動も禁止したため、現場への伝達が難しくなりました。しかし、伝えるのが難しいと認識することで、逆にこまめな情報発信に繋がりました。

また、「濃厚接触者」と接触した可能性のある従業員についても、一定期間休ませるなど、当社独自の対応も行ってきました。

本社では、テレワークの推進により、緊急事態宣言下で出勤率30%台の水準を達成しています。

海外のグループ企業については、カンパニーから情報が上がってきました。国ごとに規制が異なるため、各社とも現地のガイドラインに従った対応を行っています。海外では感染がより身近な状況でした。実際、感染者の多いアメリカとインドで感染者が発生しています（いずれも完治しました）。

委員会から発信される対応策を、中間の管理職や現場のリーダーなどがよく伝えてくれたと思いますし、従業員一人ひとりが感染症を拡大させないとの自覚から、当社ガイドラインを守り行動してくれています。トップの危機感がきちんと伝わり、従業員と共有できたことが大きかったと思います。大変な重責ではありますが、今後も委員会をしっかり運営し、コロナ禍を乗り越えていきたいと思っています。

## 特集「変革を加速」

### TOMOEGAWAグループ 新型コロナウイルス対策

## 主な新型コロナウイルス対策

「事業活動や業績に与える損害を最小限に抑えつつ、ウイルスによる脅威から会社と従業員を守る」ため、ウイルス感染状況の変化に合わせてさまざまな対応を実施しています。

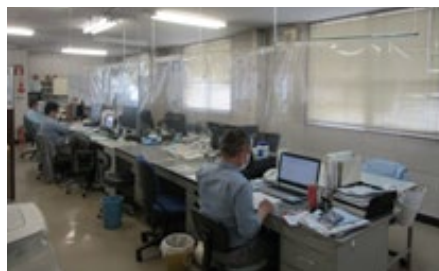
### — 基本感染予防対策 —

- 検 温** 毎日の検温を徹底し、発熱時には委員会に報告を行い経過を確認しています。
- マ ス ク** 常時着用を徹底し、食事、喫煙時は会話を禁止しています。
- 手 洗 い** 入室時の手洗い、消毒を徹底しています。
- 3密厳禁** 感染状況に応じて、社内、プライベートでの行動の制限事項を明確にしています。

### ゾーニングによる対応

各事業所では、建屋ごとの移動制限や居室内でのゾーニングを実施しています。

さらに東京本社では事務所内のフロアを3区画に分けたゾーニング、会議室のゾーニングを実施し、感染リスクの最小化を図っています。



パーテーションによるゾーニングの明確化



オフィス内にテープを貼り往来禁止に

### オンラインの活用

オンラインでの商談や社内会議、研修教育を積極的に推進しました。



オンライン研修



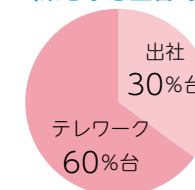
オンラインでの社内会議

### テレワークの実施

第1回緊急事態宣言発出時から、即時テレワーク、時差出勤を実施しました。

特に東京本社では、感染状況に応じ、30～40%前後の出勤率に抑えた運用を行っています。

本社（東京）の出勤比率  
（緊急事態宣言時）



### 感染者発生時の対応

従業員が感染した場合、新型コロナウイルス対策委員指揮のもと対応を進める体制をとっています。特に感染リスクの高い東京本社では、感染者が発生した場合の「対策マニュアル」を作成し、感染者発生時の模擬訓練なども行っています。

### その他 加速した取り組み

- ・オンライン展示会 (8P)
- ・RPA (ロボット化) 推進 (9P)
- ・テレワークの推進により押印が必要な業務の見直しなどを行いました。



# 特集「変革を加速」

## 新製品開発

### 省エネ型「ドライエアーユニット」を開発 JAXA 種子島宇宙センターで実証試験実施



ドライエアーユニット JAXA 種子島実証テスト：ユニット設置時 衛星輸送用保護カバー 密閉時

省エネルギーで極めて精密にドライ環境を維持できる「ドライエアーユニット」を開発し、2020年2月26日～28日に宇宙航空研究開発機構（JAXA）種子島宇宙センターで実証試験を行ないました。その結果、高い性能を発揮することが確認できました。

人工衛星等に水分が付着すると精密機器等に悪影響を及ぼす可能性があるため、種子島宇宙センターで人工衛星を建屋から別の建屋に移動させる際には、結露しないよう人工衛星をドライ環境下で移動させる必要があります。そのため、人工衛星を保護カバー内に収納し、そこに窒素を注入して時間をかけて除湿しています。

当社開発の「ドライエアーユニット」を使用すると、除湿時間が短縮（従来10時間必要な時間が2～3時間程度に短縮可能）でき、再利用時のリジェネレーション（脱水分工程）も低温で可能なため効率が上がります。種子島宇宙センターでの採用を目指すと共に、ドライ環境が必要な多方面への提案を開始しています。

#### 低温でリジェネできるため省エネ

- ・リジェネ（脱水：再生）温度が低温（80℃～）であるため、使用電力量が小さく省エネ

#### 除湿時間短縮、工程短縮

- ・ファン内蔵構造のため、短時間での除湿が可能

#### ポータブル

- ・内蔵バッテリー駆動のため、持ち運びが容易で、設置場所に制限なし
- ・装置寸法はカスタマイズ可能

### ミリ波帯域に対応する 「熱伝導性電磁波吸収グリース」を開発

放熱性を維持しながら高周波（ミリ波）帯域の電磁波を吸収する「熱伝導性電磁波吸収グリース」を開発しました。

近年、自動車分野での先進運転支援システム（ADAS）や情報通信分野での高周波帯域を利用した第5世代移動通信システム（5G）の本格的な実用化に向け、使用される電子デバイスの高性能化と小型化がより一層求められています。これに伴い、電子デバイス内で発生する熱や電磁波ノイズが製品開発において大きな課題となっています。

従来、電磁波吸収シートや熱伝導グリースがそれぞれ使用されていますが、当社は放熱性を維持しながら電磁波を吸収することができる、1材料で2役を発揮する製品を開発しました。さらに、グリース状なので複雑な形状に対応することができます。

この製品により高周波帯域で使用される電子デバイスの課題を一度に解決し、高性能化や小型化に貢献していきます。



#### 当社開発グリース

放熱・電磁波対策が同時に可能



項目	数値
周波帯域	24～110GHz
熱伝導率	3.5W/m・k
直流体積抵抗率	1GΩcm以上
誘電正接	0.4以上

※上記値は測定値であり保証値ではありません。

## 特集「変革を加速」

### オンライン展示会で製品・技術をPR

## TOMOEGAWAのユニークな技術を オンラインで発信

コロナ禍において多くのリアル展示会が中止となり、オンライン展示会が増え、展示会のあり方も大きく変化しました。リアル展示会と違いオンラインの場合、遠方の方にもご覧いただけ、24時間アクセスできますので、より多くの方にご都合の良い時間にご覧いただけるメリットがあります。当社もオンライン展示会に積極的に参加し、「熱・電気・電磁波」「環境」に関する課題解決のための製品や技術を紹介しました。

### 「SAMPE Japan 先端材料技術展 2020 ONLINE」 に初出展

新規顧客獲得や新たなマーケティング方法検討の一環として、2020年10月14日(水)～11月13日(金)に開催された「SAMPE Japan 先端材料技術展 2020 ONLINE」に初出展しました。

オンラインならではの見せ方等の工夫に大変苦労しましたが、予想以上に多くの方にアクセスしていただきました。オンラインという限られた中での紹介となりましたが、熱・電気・電磁波をコントロールする「iCas®」ブランドや設備・作業等の環境や地球環境の改善に寄与する「グリーンチップ®」ブランドを中心に、新たなビジネス価値を創造する製品をご紹介できました。

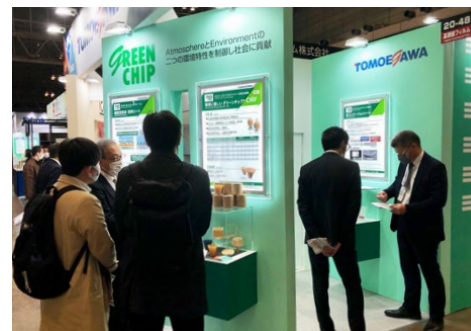


### 「高機能素材 Week 2020 『第11回 高機能フィルム展』」に出展

2020年12月2日(水)～4日(金)、材料技術に特化した「高機能素材 Week 2020『第11回 高機能フィルム展』」(会場：幕張メッセ)に出展しました。コロナ禍ということもあり、当展示会はリアル展示会とオンライン展示会の併催でした。

「iCas®」ブランドからは5G対応の「低誘電ボンディングシート」やミリ波帯域対応の「熱伝導性電磁波吸収グリース」、 「グリーンチップ®」ブランドからはセルロースマイクロファイバーを配合した樹脂「グリーンチップ® CMF」を中心に紹介しました。

コロナ禍でのリアル開催に不安もありましたが、日本展示会協会のガイドラインに基づき感染拡大予防対策を実施し、多くの方々に安心してご来場いただけるよう心がけました。久しぶりのリアル展示会を大盛況のうちに終えることができました。また、オンラインでも多くのお問い合わせや商談リクエストをいただきました。





## 特集「変革を加速」

### 従業員の働きやすい環境づくり

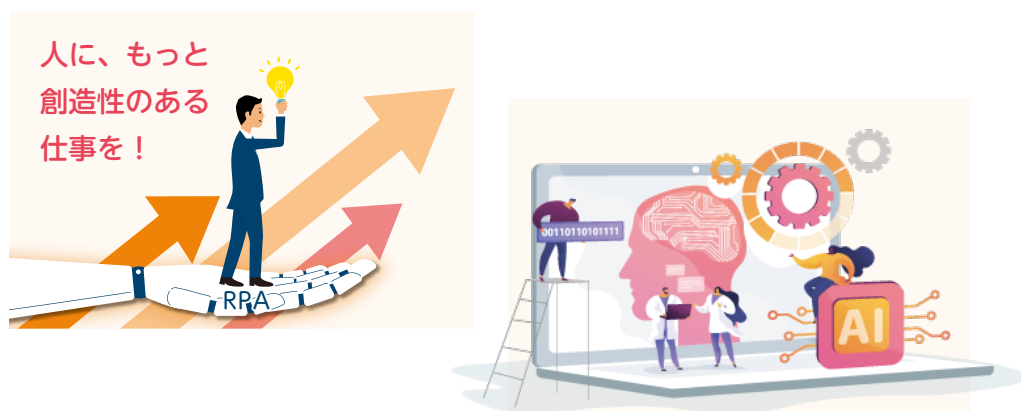
## IT戦略ツール「RPA」を実践投入中

業務効率化や生産性向上を実現する新しいテクノロジー「RPA (Robotic Process Automation)」が世界的に注目される中、当社でも積極的に導入を進めています。

当社では、RPAの導入を推進するため、まずは、全部門共通のプロセスで行なっている業務をRPA化のターゲットとし、プロジェクトを発足し、開発を開始しました。ロボット完成後、プロジェクトメンバーにてデモを確認。今まで手作業で行なっていた業務が実際に目の前で次から次へと自動で処理される光景を見るのは良い意味で衝撃だったと思います。現在、複数のロボットが稼働しており、年間で数百時間の削減効果が見込まれています。

RPAの強みは「正確に」「休まず」働くことが挙げられます。規則性のある業務をRPAに代替させることにより、人間にしかできないクリエイティブな付加価値の高い業務に専念することができます。

当社では、従業員の貴重な「時間」「能力」「経験」を、創造性のある、より付加価値の高い仕事に活用できるよう、引き続きRPA化を進めていきたいと思っています。



人に、もっと  
創造性のある  
仕事を！

### ZOOM UP RPA 導入例 - 受注登録業務の自動化 -

当社ではお客様との受注・発注・出荷・請求の取引に通信回線システム「EDI (Electronic Data Interchange)」を利用しています。従来は、担当者がEDIから必要な情報を取得し、当社システムに登録していました。この情報取得から登録までの7ステップのうち、5ステップをRPAで自動化しました。その結果、年間数十時間の作業時間の短縮、入力間違い防止効果が得られています。

#### インタビュー

**RPAで「こんなことができたらいいな」  
が実現できました！**

RPAを使うことで、登録業務がミスなくスムーズに行えるようになり、大助かりです。面倒な検索作業も時間短縮でき、効率UPになっています。業務見直しの中で「こんなことができたらいいな」が実現しました。ぜひ皆さんにもやっていただきたいです。



巴川物流サービス㈱  
業務課  
末村 友里

## テレワークの実施

2020年度は新型コロナウイルス感染予防のため、テレワークへの対応が急速に進みました。2020年4月7日に緊急事態宣言が発出された際には、東京本社では即時テレワークを開始しました。業務のオンライン化が進んだことで、特に東京本



テレワークによる営業活動

社ではほとんどの従業員がテレワークを実施しています。以前から導入しているフレックスタイム制も、テレワーク下での業務効率化やワークライフバランスの向上につながっています。

今後も時代に合わせた働き方を可能にする取り組みに努めてまいります。

## 特集「変革を加速」

### 従業員の働きやすい環境づくり

## ワークライフバランスの推進

当社では、従業員が仕事とプライベートを両立し、能力を最大限に発揮できるよう、働きやすい職場環境づくりに努めています。育児休職制度や、育児介護のための勤務時間短縮措置、フレックスタイム制度等、さまざまな制度を整備しています。

特に育児に関しては、法定を上回る対応として、事由にかかわらず育児休職は子が2歳になるまで、勤務時間の短縮は子が小学校に入学するまで可能としています。女性正社員の育児取得率・復帰率はともに100%を継続しており、近年では男性の育児休職取得実績も増加しつつあります。仕事と家庭生活を両立しながら安心して働き続けられる環境づくりに努めています。

#### ZOOM UP

### 子育て両立支援制度 活用者の声

iCas カンパニー 開発本部  
機能紙開発グループ

大塚 淳



2020年4月から5月にかけて、第3子の誕生に合わせて1か月間の育児休職を取得しました。

#### 1. 育児の取得にあたって不安はありましたか？

収入面の不安や、家事・育児を十分にこなせるか、といった細かい不安はありましたが、育児を取得したいと上司に相談した際に快く受け入れてもらえ、会社としても応援しているからぜひ周囲にも男性の育児取得を広めてほしいと言われ、気持ちが楽になりました。

業務の引継ぎ等に関してはタイミングもよく、問題なくスムーズに育児期間に入ることができました。

#### 2. 育児中の印象的なエピソードなどあれば教えてください

ちょうどコロナ禍、緊急事態宣言下での出産で、入院する妻との面会ができない状況でした。妻の精神的なフォローができないのはとても心苦しかったですし、上の子どもたちも、母親に会えないストレスからか普段よりも粗相が多く、大変な育児期間でした。

#### 3. 育児から復帰後、家庭と仕事の両立についてはどうですか？

育児を通して、家事や育児の大変さを実感しました。もちろん育児取得前も家事や育児はしていましたが、育児を取得し、真正面から家庭に向き合う経験をしたことで、育児や家事への理解度が深まりました。仕事を再開してからも育児中に学んだ家事の段取りを継続しています。当たり前のことですが、仕事も家事育児も一つ一つ真摯に向き合うことが両立につながっていると感じています。日々の生活の中で家族に教えられることも多く、仕事にもいい影響が出ていると感じます。

#### 4. 最後に、育児取得を検討している人（特に男性）にメッセージを

細かい不安はありましたが、取得してよかったと思っています。育児を取得し、家事・育児に真正面から向き合うことで、「家事・育児の手伝い」では得難い貴重な経験ができ、人生において大きな勉強ができました。育児の取得ないし子育てを通じて学んだことは、仕事にも応用できていると感じています。また、家族との関係もより良いものになったと感じています。

多少の不安はあると思いますが、制度を利用して真正面から向き合い、体験してくると見えてくるものがあります。ぜひ積極的に取得してほしいと思っています。



# 特集「変革を加速」

## TOMOEGAWAを世界にPRするために

### ホームページをリニューアル

2020年4月15日に当社のホームページをリニューアルしました。ご利用の皆様にとって探しやすく、見やすく、わかりやすいホームページを目指し、コンテンツの充実、デザインやページ構成の見直しを行いました。

#### リニューアルポイント① トップページの刷新



トップページのデザインを大幅に更新しました。TOP画面には当社注力製品や最新技術を切り替え表示し、各製品紹介ページへご案内できるようにしました。また、当社の歴史をまとめた「TOMOEGAWAの歩み」や会社紹介動画などのコンテンツを作成しトップページからアクセス出来るようにしました。

107年の歴史を  
わかりやすく紹介!

#### リニューアルポイント② モバイル対応

昨今ではパソコンの他にスマートフォンやタブレットからアクセスする機会が増加しています。今回のリニューアルではモバイルにも対応させ、より使いやすく快適にご利用いただけるホームページとしました。



#### リニューアルポイント③ ページ内容の更新



製品紹介や技術情報などの内容も刷新しました。熱・電気・電磁波をコントロールする「iCas®」ブランドや環境関連を中心としたSDGsに貢献する「グリーンチップ®」ブランドなどの製品情報を掲載しています。また、IRページでは重要な開示情報を自動更新するシステムを導入し、東証適時開示と株主・投資家へのリアルタイム情報発信を向上させました。



「財務ハイライト」のページではWEBの新機能でグラフを自動表示。四半期ごとの表示選択も可能

お客様に注目してもらいたい  
新製品を掲載!

また、日本語ページの更新に加えて、同年7月には英語版ホームページのリニューアルも実施しました。今後も日本語版、英語版共に情報鮮度を維持してまいります。

#### Facebookの活用

当社では、Facebookへの会社情報の投稿も行っています。2020年度は主に「TOMOEGAWA製品図鑑」と題した製品紹介、当社のCSR活動のご紹介、分析センターの情報等を投稿しました。今後も継続してFacebookへの投稿を行っていく予定です。

ページはこちらからご覧いただけますのでぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/TOMOEGAWA1917/>



Facebookで定期的投稿中!  
「いいね」お待ちしております!

時代のニーズを先取りするグローバル志向の開発型企業

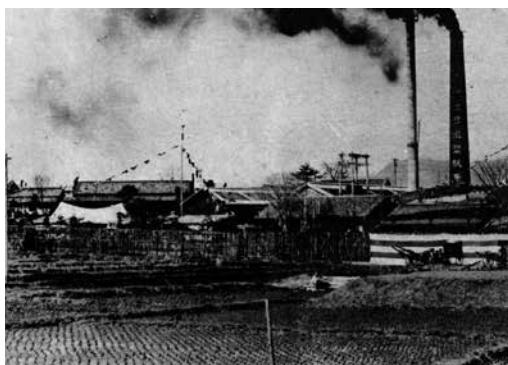
# TOMOEGAWA

## 会社概要

1914年、「電気通信用紙（さん孔紙）」と「電気絶縁紙」の国産化に成功し、産業用特殊紙のパイオニアとしての道を歩み出して100年以上。創業以来培ってきた「電気絶縁材料技術」と「抄紙・粘・接着、粉体、塗工」技術に磨きを掛け、時代のニーズに応じた製品づくりを行ってきた当社の事業をご紹介します。

### 会社概要

社名	株式会社巴川製紙所 (通称:TOMOEGAWA)
英文社名	TOMOEGAWA CO.,LTD.
創業	1914年(大正3年)6月19日 (創業記念日)
設立	1917年(大正6年)8月15日
資本金	2,122,953,550円 (2021年3月31日現在)
従業員数	連結 1,345名 単独 387名 (2021年3月31日現在)



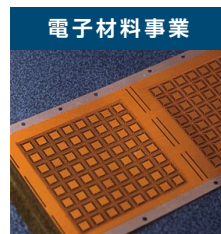
創業当初の清水事業所(1914年)

### 事業内容

#### 5つのセグメントを事業展開

当社は以下の5つのセグメントについて事業展開しています。

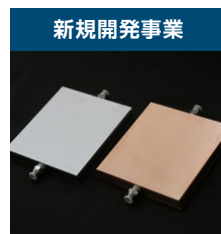
- ・トナー事業(微粒子製品)
- ・電子材料事業(ディスプレイ・エレクトロニクス関連製品)
- ・機能紙事業(特殊紙・機能紙・塗工紙関連製品)
- ・セキュリティ事業(カード関連製品)
- ・新規開発事業(iCas®、グリーンチップ®など開発製品)



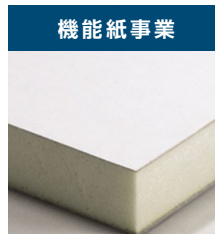
電子材料事業  
QFNテープ



トナー事業  
トナー



新規開発事業  
ヒートシンク



機能紙事業  
機能性断熱シート

#### 抄く・塗る技術を生かした 戦略「熱・電気・電磁波 コントロール材料」

5GやDXといった世の中の流れの中、電子機器の小型化、軽量化、ハイパワー化(高電圧・高電流・高周波)が求められています。このようなニーズに対応するため、当社の強みである抄紙および塗工技術を活用し、機器・部品の故障・誤作動防止に貢献する熱・電気・電磁波コントロール「iCas®」ブランド製品を拡充し、さまざまなソリューションを提供します。



#### 環境関連ブランド グリーンチップ®製品を 開発、拡充

当社は、原材料や省エネルギー、CO<sub>2</sub>の発生抑制や削減など製品製造において環境に配慮するだけでなく、製品を使用していただくことにより、衛生改善、有害化学物質対策、廃棄物削減、沿岸・海洋保全、環境に配慮した技術・産業プロセスなどの環境関連を中心にSDGsに貢献する「グリーンチップ®」ブランド製品を開発・拡充します。



# TOMOEGAWA 会社概要

## TOMOEGAWAの経営体制（2021年度）



後列 左から、黒越 努、川島 浩志、鮫島 正洋、小森 哲郎、遠藤 仁、辰己 聖、鈴木 健一郎、中本 亘、森本 純  
前列 左から、林 隆一、井上 雄介、井上 善雄、山口 正明、古谷 治正

### 取締役

氏名	役職
井上 善雄	代表取締役社長 CEO
山口 正明	取締役専務執行役員 CFO 経営戦略本部長
井上 雄介	取締役常務執行役員 CTO iCasカンパニー長 兼 開発本部長
林 隆一	取締役常務執行役員 パウダーテクノロジーカンパニー長
古谷 治正	取締役常務執行役員 CSO 兼 CPO 業務本部長 兼 品質保証統括室管掌 兼 技術本部管掌 兼 TTOF 管掌

氏名	役職
遠藤 仁	社外取締役
辰己 聖	社外取締役
小森 哲郎	社外取締役 (監査等委員会委員長)
鮫島 正洋	社外取締役 (監査等委員)
鈴木 健一郎	社外取締役 (監査等委員)

\* 取締役の主要な経歴は、有価証券報告書（事業年度 162 期）をご覧ください。

### 専任の執行役員

氏名	役職
川島 浩志	執行役員 業務本部 副本部長
中本 亘	執行役員 iCas カンパニー 機能紙事業部長
黒越 努	執行役員 iCas カンパニー 電子材料事業部長
森本 純	執行役員 パウダーテクノロジーカンパニー 画像材料事業部長

### フェロー（役員待遇の専門職）

氏名	役職
能條 和彦	技術本部長 兼 生産本部副本部長
片桐 裕人	iCas カンパニー 開発本部 電子材料担当
打田 幸泰	iCas カンパニー 開発本部 機能紙担当
今田 俊治	インド事業担当



左から、打田 幸泰、能條 和彦、片桐 裕人、今田 俊治

# TOMOEGAWA グループ各社

## 国内拠点



**昌栄印刷株式会社**  
有価証券・カード・帳票・磁気記録関連製品等の製造・加工・販売および情報処理関連事業



**本社**  
 ■秘書室 ■経営戦略本部 ■業務本部  
 ■iCasカンパニー  
 ■企画室、機能紙事業部、電子材料事業部  
 ■パウダーテクノロジーカンパニー  
 ■画像材料事業部

**三和紙工株式会社**  
重包装紙袋、コンテナ、各種包装資材等の製造・加工・販売、特殊紙・機能紙の販売



**静岡事業所**  
 ■品質保証統括室 ■経営戦略本部  
 ■業務本部 ■技術本部  
 ■iCasカンパニー  
 ■開発本部、機能紙事業部、電子材料事業部  
 ■パウダーテクノロジーカンパニー  
 ■画像材料事業部



**清水事業所**  
■iCasカンパニー 電子材料事業部

**新巴川加工株式会社**  
紙、プラスチック、トナー等の加工・包装

**巴川物流サービス株式会社**  
貨物自動車運送業および倉庫業

**株式会社 トッパン TOMOEGAWA オプティカルフィルム**  
反射防止フィルム、機能性フィルム及びその応用加工製品、前述製品に関する合成樹脂等の開発、製造、販売



**新宮山林事務所**



**日本理化製紙株式会社**  
紙およびプラスチックの加工おならびに販売、テープの自動封筒機およびその付属品の販売

## 海外拠点



**TomoeGawa Europe B.V.**  
TOMOEGAWA グループ製品の欧州及び周辺地域への販売



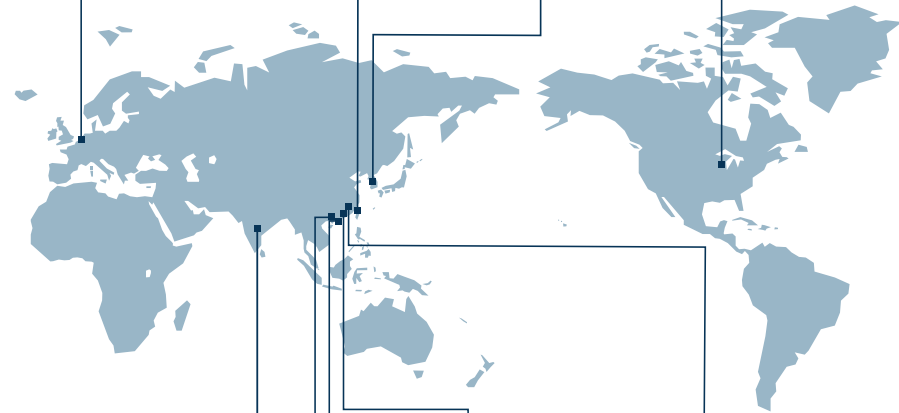
**台湾巴川股份有限公司**  
電子部品材料の台湾及び周辺地域への販売



**巴川코리아株式会社**  
電子部品材料の韓国及び周辺地域への販売



**TOMOEGAWA(U.S.A.) INC.**  
TOMOEGAWA グループ製品の米国及び周辺地域への販売




**巴川影像科技(惠州)有限公司**  
複写機・プリンター用トナー等の製造・販売



**日彩影像科技(九江)有限公司**  
複写機・プリンター用トナー等の製造・販売



**TOMOEGAWA Aura India Pvt. Ltd.**  
絶縁紙の製造・販売



**巴川香港有限公司**  
TOMOEGAWA グループ製品の中国及び周辺地域への販売



**巴川(広州)国際貿易有限公司**  
TOMOEGAWA グループ製品の中国での販売



法令遵守・企業倫理に則った経営体制を構築

# 企業統治・ コンプライアンス

企業活動を展開するうえで、法令を遵守し、企業倫理に則って行動することは、CSR（企業の社会的責任）を果たす大前提です。TOMOEGAWA では、コーポレート・ガバナンス体制や内部統制体制のさらなる充実を図るとともに、従業員が満足・安心して働ける体制づくりに注力しております。

## TOMOEGAWA のコーポレート・ガバナンス体制

### コーポレート・ガバナンス体制

当社は、企業活動を支えているすべてのステークホルダーの利益を尊重し、持続的な成長を通じて企業価値を高め社会に貢献するエクセレント・カンパニーを目指しています。

この実現のため、当社は、「監査等委員会設置会社」形態を採用し、コーポレート・ガバナンスを通じて経営の効率性、透明性及び公正性の確保とさらなる充実を図ることを重要な課題と捉え、積極的な情報開示、役割と責任の明確化によるスピーディーな意思決定、そして、客観的なチェック機能の強化に取り組んでいます。

※ 当社のコーポレート・ガバナンス体制の詳細につきましては、別冊「コーポレート・ガバナンス体制」を参照下さい。

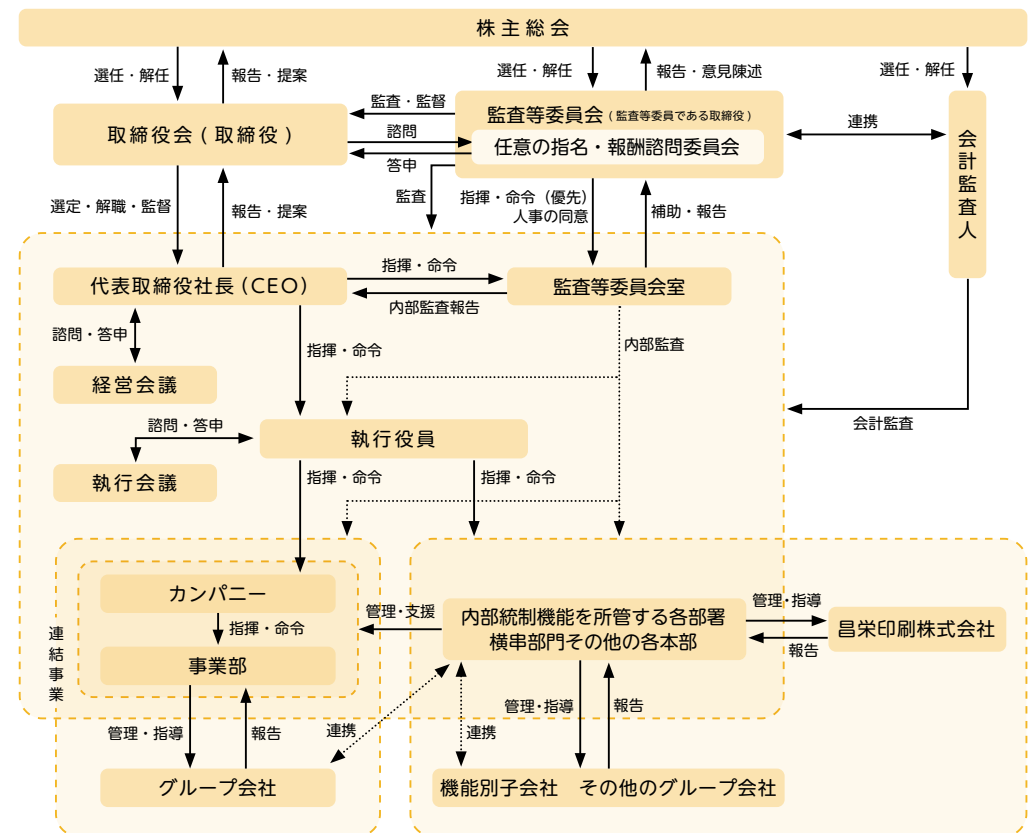
### 内部統制の取り組み

当社は、内部統制基本方針を定め、その体制構築を進めています。海外展開とともに複雑化するコンプライアンスとリスク管理に関する課題に対応するため、カテゴリーごとに責任部署を明確化し、当該部署が責任をもって実施する体制に変更しています。

さらに、当社は監査等委員会の職務を補助する監査等委員会室を設置し、内部監査機能を移行しています。また、グループ単位での内部統制に関する横断的な統制ルールの制定等の見直しなども進めています。

その他、継続している取り組みは次頁で紹介しています。

### コーポレート・ガバナンス体制



# 企業統治・コンプライアンス

## TOMOEGAWA のコーポレート・ガバナンス体制

### 内部統制の取り組み① コンプライアンスへの取り組み

TOMOEGAWA グループは、社会の一員としての責任を自覚し、「TOMOEGAWA グループ行動規範」を定めています。また、コンプライアンスに関する従業員への教育は、当社の経営層、管理職、一般社員、派遣社員の他に、グループ企業の従業員に対しても実施しています。

### 内部統制の取り組み② リスクマネジメントへの取り組み

TOMOEGAWA グループではリスクマネジメント方針を制定し、リスクの抽出や評価、注視すべき特定リスクの選定、リスク対応の管理に取り組んでいます。

### 内部統制の取り組み③ ディスクロージャーの取り組み

TOMOEGAWA グループでは、情報開示基本方針を制定し、会社を取り巻くすべてのステークホルダーの皆さまに対して企業情報を開示し、経営の透明性を高めることに取り組んでいます。

### 内部統制の取り組み④ 金融商品取引法に基づく内部統制

TOMOEGAWA では「財務報告に係る内部統制基本方針」を定め、CFO（最高財務責任者）を委員長に J-SOX\* 委員会を設置して体制づくりを進めています。

毎年の決算ごとに経営者による評価とその内容について公認会計士による監査を受け、内部統制の有効性を確認しています。

\* J-SOX とは財務報告に係る「内部統制報告制度」のこと。これは、「日本版 SOX 法」とも呼ばれ、情報開示の信頼性を確保するために、金融商品取引法等において規定された「内部統制整備の制度」を指します。

### 内部統制の取り組み⑤ コーポレートガバナンス・コードへの対応

当社はコーポレートガバナンス・コードの趣旨を踏まえた取り組みを実施しています。詳細については、東京証券取引所のホームページに開示の「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」で閲覧することができます。

## 調達部門の法令遵守

当社の調達部門では、下請代金支払遅延等防止法（以下、下請法）など関連法令の遵守に努めています。下請法対応では、年 1 回の監督官庁の調査に合わせ、社内調査を実施し、担当者の意識向上を図っています。また、下請法関連のセミナーには、当社担当が出席し法改正等の情報の収集に努めています。

## 反社会的勢力への対応

当社は、市民社会に脅威を与える反社会的勢力や団体には毅然とした態度で対応し、一切の関係を遮断することを行動規範に定め、遵守しています。

## 機密情報管理への対応

当社は、専有する機密情報管理および取引先等の第三者より入手した機密情報を保護し、適切な管理を行うため、機密情報管理規程を制定し、適時管理方法の見直しに取り組んでいます。



# 企業統治・コンプライアンス

## TOMOEGAWA のコーポレート・ガバナンス体制

### 個人情報保護への対応

当社は、マイナンバー法、改正個人情報保護法に対応した社内規程の整備、グループ企業を含めた周知や情報提供を実施しています。

### GDPR への対応

グローバルに事業を展開する TOMOEGAWA グループとして、2018年5月に発効された GDPR (EU 一般データ保護規則) への対応を行っています。2019年7月に欧州法人 (TomoeGawa Europe B.V.) を訪問し、GDPR に関する同社のルール化を支援しています。

\* プライバシーポリシーの詳細は <https://www.tomoegawa.co.jp/info/privacy.html> をご覧ください。

### ハラスメントへの対応

当社は、テレワークを実施しています。そこで発生する「テレワークハラスメント」に関して注意喚起の情報を発信しています。

また、内部通報等に寄せられたハラスメントに係る情報に対して、社内ルールに基づき適宜・適正に処理を行っています。

### 内部通報制度 (勇気の扉)

当社では、内部通報窓口として「勇気の扉」を設置しています。その方法は e-mail、社内メール、投書箱を用意しており、受付窓口は社内相談窓口、社外取締役及び弁護士となっています。

この内部通報制度の周知を目的として当社および国内グループ企業の従業員全員に年に一度「体験通報」(模擬通報)を実施しています。体験通報の取り組みは、繰り返し行うことで企業としての自浄作用の強化・コンプライアンス意識の醸成が進むと考えており、今後も継続して行っていく予定です。

なお、相談・通報に関する秘密は厳守されるとともに、公益通報者保護法に基づき、相談者・通報者に不利益が生じないよう、社内体制を整備しています。



インターネット版「勇気の扉」



グループを挙げて成長へ邁進

# TOMOEGAWAグループ の活動

TOMOEGAWA では、「グループ会社管理規程」のもと、グループ各社が一体となって、情報の共有や連携を深めております。各社の代表者や実務担当者が一堂に会して接することで、綿密なコミュニケーションを図るとともに、各社の取り組みの紹介や横展開を積極的に促進しております。

## TOMOEGAWA グループとして理念や方針、情報を共有

### 関係会社社長会

関係会社社長会とは、当社が国内外のグループ会社の全社長を招集し、原則年1回開催しているものです。TOMOEGAWA 社長方針や報告事項の伝達、関係会社からの連絡事項などを行っています。

2020年度は、残念ながら新型コロナの影響で、開催は見送りましたが、リモート会議などで十分にコミュニケーションを図っています。



関係会社社長会（2019年7月5日）

### グループ会社とのコミュニケーション



日本理化製紙（草薙工場）ハラスメント研修（2020年3月9日）

当社は、当社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するため2016年度に「グループ会社管理規程」を制定しました。経営戦略本部長をグループ会社の管理統括責任者としたうえで、リスクカテゴリーごとの責任部署によるリスク管理を行う体制を構築しています。

また、グループ会社とコミュニケーションを図り、グループ会社における課題を把握し、さまざまな研修や情報提供など、必要な支援を行っています。

### 国内関係会社経理担当者連絡会

国内グループ会社の財務・経理担当者を一堂に集め、会計及び決算・税務に関して、経理グループより説明を行っています。

また、グループに係る方針や重要テーマについて、関連する部署からプレゼンを行うなど、情報の共有を図っています。

2020年4月以降は、コロナの影響を考慮し、リモートでの開催、もしくはグループ会社参加者はリモート参加に限定するなど、状況を見ながら開催しています。



国内関係会社経理担当者連絡会（2020年3月27日）

# TOMOEGAWAのグループ活動

## 国内グループ会社の活動

### 日本理化製紙(株)

日本理化製紙(株)では、環境省が中小企業も取り組みやすい環境経営システムとして策定した「エコアクション21」に認証登録し、活動を行っています（認証登録番号0002868）。

環境目標として、温室効果ガスの排出量削減活動、廃棄物排出量削減、排水の適切な管理、環境関連物質 / 化学物質の削減、環境配慮製品の販売を設定し対応しています。環境配慮製品としては、環境にやさしい梱包用テープ「リカテープ」を販売しています。

年間活動は「環境活動レポート」にまとめ報告しています。



緊急時対応訓練：側溝に土囊を入れ薬品をせき止め、ポンプにて回収



環境配慮製品「リカテープ」



工場南側の植樹



廃棄物置き場の土壌汚染対策（簡易テントの設置）

### 新型コロナウイルス対策

TOMOEGAWAの「新型コロナウイルス対策委員会」の対応ガイドラインに準じて対応しています。事務所、応接室にパーテーションを設置したり、食堂では椅子を対面から一方向へ配置し、昼休みも時間差を設けるなど対応しています。



日本理化製紙ホームページ→ <http://www.nihonrika.co.jp/>



### 昌栄印刷(株)

昌栄印刷(株)では、2007年4月より「地域への環境保全に貢献する」を環境方針に掲げ、日頃お世話になっている近隣地域を快適に保つことができるよう、本社近隣桃谷公園の清掃活動、川崎工場周辺の清掃活動を継続的に実施しています。

しかし、2020年度は新型コロナの影響により、清掃活動は見合わせています。

コロナ対策については、TOMOEGAWAグループのガイドラインに沿って対応し、事務所ではパーテーションの設置や工場内の喫煙所など密集場所の閉鎖などを行っています。

昌栄印刷ホームページ→ <http://www.shoei-printing.com/>



# TOMOEGAWAのグループ活動

## 国内グループ会社の活動

### 三和紙工(株)

#### 昨年に引き続き飲料水用簡易水槽「フジコン」がNHKニュースで放送

「フジコン」とは、三和紙工(株)で展開している、災害時など緊急時に使用される飲料水用簡易水槽のことです。防災用途として2016年以降に本格販売開始以降、全国各地の市町村でご採用頂いている同社の戦略商品です。

2019年の台風19号の被害を受けた熱海市では、「フジコン」を給水活動に活用していました。今回は、「台風19号から1年、断水を経験した熱海市の試み」というニュースの中で、熱海市の今後の対策の一環として「フジコン」についても紹介されました。

三和紙工ホームページ「フジコン」URL <http://www.sanwa-shiko.co.jp/product/fujikon.html>



NHK たっぶり静岡 放送日 2020/10/15



NHKの取材を受ける、三和紙工 鈴木 暁夫部長 (三和紙工提供)

#### 新型コロナウイルスへの対応

TOMOEGAWAの「新型コロナウイルス対策委員会」の対応ガイドラインに準じて対応しています。各事業所では3密を避け、消毒の徹底とゾーニングを行っています。



岡山事業所



鹿島事業所

# TOMOEGAWAのグループ活動

## 海外グループ会社の活動

TOMOEGAWA グループは、中華圏・米国・EU・東南アジア各地域に展開するグローバルな生産・販売体制の最適化を掲げ、ワールドワイドに事業を展開することで海外売上高の着実な伸長を実現し、成長戦略を軌道に乗せることを目標としています。

巴川映像科技（惠州）有限公司・日彩映像科技（九江）有限公司は中国での複写機・プリンター用トナーの製造拠点です。また、巴川（広州）国際貿易有限公司は、TOMOEGAWA グループ製品の中国での販売、巴川香港有限公司はTOMOEGAWA グループ製品の中国及び周辺地域への販売を行っています。中国では早期に新型コロナウイルスの抑え込みに成功していることから、惠州や九江では、対面での社員研修や消防訓練、社員旅行なども実施できています。

TomoeGawa (U.S.A.) INC. は長らくアメリカにて複写機・プリンター用トナーの製造・販売の拠点でしたが、構造改革のため2020年度にトナー製造中止を実施しました。今後は販売に注力します。TomoeGawa Europe B.V. はヨーロッパでのTOMOEGAWA グループ製品の販売拠点となっています。欧米では感染者が多く、国外移動が禁止となり、お客様とはリモートやメールでのやり取りとなっています。長年構築している信頼関係を生かしコミュニケーションを図っています。

TOMOEGAWA Aura India Pvt. Ltd. は、インドでの電気絶縁紙生産の製造拠点として、生産性向上を高めてきました。工場のあるHyderabadも深刻な感染状況ですが、対策の徹底により操業を維持しています。現在、インド全土で医療用酸素が不足している状態であり、現地従業員のため日本から酸素濃縮器の支援を行いました。

### 巴川映像科技（惠州）有限公司



新型コロナウイルス対策  
(入場時の検温)



運動会

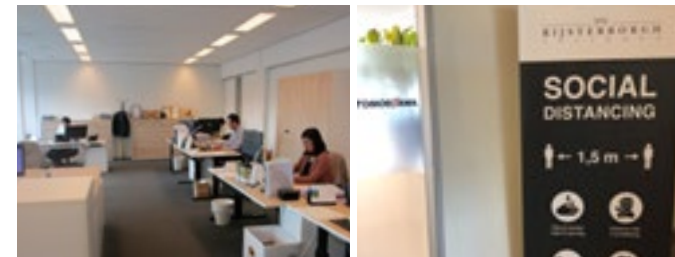


新型コロナウイルス対策  
(工場内の消毒)



消防講習会

### TomoeGawa Europe B.V.



TEBV オフィス（2019年撮影）。現在、ビル内にはいたるところにソーシャルディスタンスの看板が設置

### TOMOEGAWA Aura India Pvt. Ltd.



社員研修



消防訓練



社員旅行



社員研修



現地に届いた酸素濃縮器



## 開発型企業として技術開発を推進

## 社内技術交流・評価技術

「グローバルに展開し成長する全員参加の開発型企業」を目指し、技術交流を目的とした「開発フォーラム」を開催しています。開発部門だけではなく製造、営業、間接部門から多数の従業員が参加し、時代のニーズに応えた製品の創出加速を推進する活動のひとつです。また、開発をサポートする評価技術の充実も図っています。

## 開発フォーラム &amp; Award

2020年度はコロナ禍であったため、3密を避けWeb会議システムを使用したオンラインの形式にて全2回開催しました。

## 第1回

2020年11月11日

## 第2回

2021年2月24日



本社で受賞された鄭さん

第1回目の開発フォーラムは2020年11月11日に開催し、「注目の新製品創出」をテーマとして4件の発表が行われました。初めてのオンライン開催でしたが、例年では最多の約100名が参加し、当社の未来を担うさまざまな製品、技術について部門の垣根を超えた議論を行い、当社の幅広い技術の交流、アイデアの共有ができました。

第2回目は2021年2月24日に「Award授賞式」を開催し、技術開発やマーケティング活動の過程において、将来の成果に繋がるであろう著しい改善や工夫の実施、発明・発見、プロセス変更を表彰しました。

2020年度は、総数26件の応募の中から「革新的な新規技術」や「お客様の立場に立った製品説明ツールの作成」「逆転の発想による課題解決」など6テーマ15名が受賞しました。会場では賞状とトロフィーの授与、受賞者から活動内容の発表が行われ、画面越しに拍手が送られました。

いずれの回も従来と異なる新しい形での開催ではありましたが、「遠方のため今まで参加できなかったが、オンラインということで今回初めて参加できた」「今後もオンラインを併用して開催してほしい」などオンライン開催を推奨する声も多く寄せられました。

TOMOEGAWA  
AWARD

## 受賞者一覧

賞	受賞者
Innovative Approach	森内 英輝
Great Approach for Customer Satisfaction	付 文峰 水谷 大祐 鄭
Break Through the Wall	清水 勇氣 萩原 知哉 四方 良二 山崎 允義 坂野 翼 土井 雅仁 増井 謙 加藤 繁明
For the Future	山口 正悟 大村 浩平 宮原 香織



静岡事業所で出席された受賞者の皆さんで記念撮影

## 社内技術交流・評価技術

### 評価技術 — 巴川分析センター —

当社分析センターは、「抄紙、粘・接着、粉体、塗工」技術を核とする多岐にわたる製品群の研究開発、製造過程での問題解決、品質保証をサポートしてきました。近年では、熱・電気・電磁波コントロール「iCas®」関連分野の評価技術も加わり、幅広い分野への対応を行っています。長年にわたり培ってきた分析・評価技術を活用しお客様の問題解決をサポートしたいと、分析サービスの提供を行っています。

#### 観察する

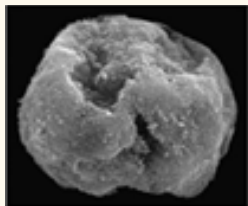
課題・問題解決のため、形態や状態を観察することはとても重要です。当社分析センターでは観察対象に合わせた前処理技術と各種顕微鏡を用いた観察により、目的に応じた形態観察を行うことができます。

#### インクジェット用紙断面の観察（光学顕微鏡写真）

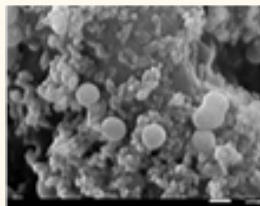


インクを受け止め、固定する働きのある層（水色染色部）の厚さ、紙の繊維の様子が観察できます。樹脂包埋処理をしない素の状態です。光学顕微鏡による紙組織の断面を観察する技術など、他にはない観察技術を有しています。

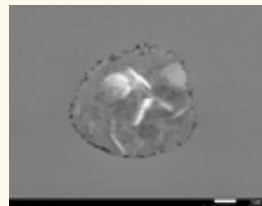
#### トナー粒子表面および断面の観察（電子顕微鏡写真）



粒子



表面

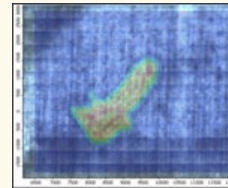


断面

#### 調べる

各製品・材料の主成分や、微量に使用されている成分の定性分析・定量分析を行っています。また、製品トラブルの原因となる付着物や異物の成分分析も行っています。

#### 金属表面に付着した成分の分析（顕微 FT-IR イメージング）



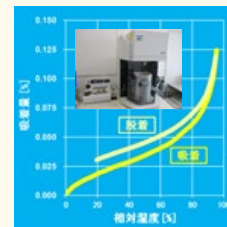
Si-C 結合由来のピーク強度で作成したイメージング画像

金属板表面でハジキが発生した部分を測定してみると、シリコンオイルと推測される成分が黄色から赤色で示されている部分に付着していることが分かりました。成分の特定に加えて、分布状態も調べることができます。

#### 物性を測定する

各製品・材料の熱物性、力学特性、粉体特性、電磁波吸収特性などの測定を行っています。

#### 水分吸着特性評価（ガス/蒸気吸着量測定装置）



珪藻土製品の水蒸気吸脱着等温線

粉体粒子や多孔質体の表面の水分やガスの吸着性能を評価することができます。水分・ガス吸着製品の開発を進める上で、欠かせない評価手法の1つです。

→ ドライエアーユニット (7P 参照)





事業活動と環境との調和のために

## 環境活動

### 環境保全活動

#### 打ち水大作戦への参加

静岡市の環境保全活動「打ち水強化月間」(2020年7月22日~8月23日)にTOMOEGAWAも参加し(延べ106人)、正門、北門、通用門及びシステム棟前で夕方に打ち水を実施しました。



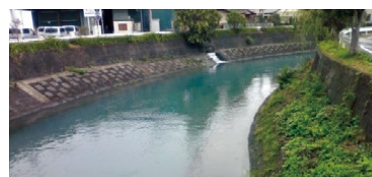
#### 排水処理

当社静岡事業所では、構内で発生する1日約25,000tの排水を処理し、近隣を流れる小坂川に放流しています。

法令順守は当然のこととして、小坂川やその下流にある用宗港の環境や景観を損ねないように、さらには、近隣住民の皆さまや行政から苦情をいただくことがないように、排水処理施設の整備と監視ならびに工場内の排水異常の際の適正な処理の仕組みづくりと教育訓練(工場外に影響を与えない活動)を実施するなど、日々、努力を積み重ねています。また、「苦情ゼロ」の継続にも注力しています。



排水処理施設



小坂川

#### 産業廃棄物処理施設への立会いの実施

当社は、「静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例・施行規則」に則り、年1回、廃棄物委託業者を訪問し処理施設の稼働状況及び処理が適切に行われているか、また近隣への公害等を及ぼしていないかを確認しています。

静岡市の条例では、優良認定処理業者に関しては公開情報の確認により実地確認とすることができるとなっていますが、当社はこれまで通りほとんどの処理業者を訪問し実地確認を行いました。今後も引き続き優良認定の有無に関わらず、可能な限り訪問し確認していきます。



立会いの現場





## 環境活動

### サプライチェーンへの働きかけ

現在の地球は、温暖化や化学物質による環境負荷増大などにより、深刻な危機に瀕しています。そのため、原材料の選別から調達・製品の製造、更には製品の使用や廃棄まで含めたサプライチェーン全体の環境負荷低減が重要であると考えます。

当社は製品に使用する材料を、当社「TOMOEGAWAグリーン調達基準書」に基づき選定し、以下のような活動を継続していきます。



- 1 サプライチェーン全体での含有化学物質管理を実践するために、当社が指定する化学物質の含有状況を、取引先様に調査・情報提供していただきます。また、「TOMOEGAWA グリーン調達基準書<sup>\*1</sup>」に基づいた製品含有化学物質の管理体制をお願いしています。
- 2 取引先様に品質管理・環境保全・製品含有化学物質管理に関するアンケートをお願いし、必要に応じて訪問監査などへの協力をお願いします。
- 3 紛争鉱物問題も配慮すべき重要な課題と位置付け、人権侵害や環境破壊などを引き起こすスズ・タンタル・タングステン・金・コバルトを含む調達品は使用しません。
- 4 入手した原材料情報はデータベース化し、関連する部門との情報を共有し、使用する原材料の安全性を審査します。「環境関連物質リスト<sup>\*2</sup>」は、定期的に見直しを行い、CiP<sup>\*3</sup>管理の規制や基準に対して、漏れが無いように適合性を監視しています。

※1 **グリーン調達基準書** … グリーン調達の目的や考え方を定義し、取引先様への依頼事項などを記載したルール。

※2 **環境関連物質リスト** … 国内外の法令・規則を基に、当社が原材料などへの含有状況確認の対象化学物質を纏めたリスト。

※3 **CiP** … Chemicals in Productsの略で、製品含有化学物質。

### 環境行政への対応

#### 立入検査

当社はボイラーや廃棄物焼却炉など環境に影響する施設を有しており、公害防止統括者・管理者を定めた公害防止組織体制を構築しています。定期的な行政の立入検査にも誠実に対応しています。



静岡市環境保全課の大気汚染防止施設立入検査  
(2021年2月18日)

#### PCBの管理状況について

PCB (Poly Chlorinated Biphenyl) とはポリ塩化ビフェニル化合物の総称で、溶けにくい、沸点が高い、熱で分解しにくい、不燃性、電気絶縁性が高いなど、化学的にも安定な性質を有することから、電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体などに利用されました。しかし、毒性が極めて高く脂肪に溶けやすいという性質から慢性的な摂取により体内に蓄積しさまざまな症状を引き起こすことが報告され、1968年に発生した「カネミ油症事件（米ぬか油にPCBが混入したことにより多くの中毒患者が発生）」により製造や使用が禁止となり、2023年3月31日までに処分することが法律で定められました。

当社では、PCBが含有した絶縁油の入った高圧トランスやコンデンサ、照明用安定器を、旧本社ビル、静岡事業所、清水事業所で複数台保有していましたが、2021年度中をもって全て処分が完了しました。





適正な管理で安全性を担保

# 化学物質管理・ 安全保障輸出管理

化学物質の中には、人体や環境に悪影響を与える可能性があります。そのため、化学物質を適正に取り扱うような施策が国内外で強化されています。TOMOEGAWA でも各種法令や国際ルールに即して、原材料から製品、物流・廃棄に至るまで、サプライチェーン全体で万全の管理体制を構築しています。

## 化学物質管理と製品安全性

化学物質は上手く利用すれば、機能的な製品となり私たちの生活を豊かにしてくれるものです。しかし、物質によっては、危険性・有害性を持っており、生き物や環境に悪い影響を及ぼす恐れもあります。そのため、製品のライフサイクル（製造・使用・廃棄）の各段階で、化学物質を適切に管理し、お客様や環境に配慮し問題を未然に防ぐことが必要となります。

当社製品は国内だけではなく、海外各国でも販売されるため、諸外国の法規制への適合も必要となります。特に化学物質管理に前向きな EU では REACH\*<sup>1</sup> 規制が施行され、SVHC\*<sup>2</sup> 認可対象候補物質へ対応が求められています。近年では、欧米だけではなくアジアなどでも、化学物質に関する法規制が増えてきています。

当社では、お客様に製品を適正・安全に使用していただくために、製品含有規制対象化学物質の情報伝達を非常に重要と位置付け、お客様からの製品含有化学物質をはじめとしたさまざまな製品環境安全に関する問い合わせに対して、調査・回答を行っています。

\*1 REACH … Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of CHemicals の略で、化学物質を管理する欧州連合 (EU) の規則。

\*2 SVHC … Substance of Very High Concern (高懸念物質)。半年に 2 回、対象物質の追加がある。



海外赴任者への研修の様子

# 化学物質管理・安全保障輸出管理

## 安全保障輸出管理

当社はグローバルな事業戦略に対応するため、安全保障輸出管理の自主管理として2006年に代表取締役社長を最高責任者とする社内管理体制を構築し、経済産業省に輸出管理規程（コンプライアンスプログラム）を届出しています。

また毎年、管理部門による内部監査、社内教育等を実施し、輸出管理レベルの継続的改善活動を進めており、その内容については自己管理チェックリストを作成し同省へ提出しています。

社内ルールとしては、輸出する全ての貨物・技術に対して、輸出許可等を必要とするかどうかを判定するための該非判定と、輸出する際には、輸出する貨物・技術の用途やそれを使用する需要者等に懸念点が無いか確認する取引審査を義務付けています。このように、当社は外為法を順守し、国際的な平和や安全の維持に努めています。

一方で、海外に目を向けると、2020年度も米国及び中国の安全保障関係にとって変化の大きい年でした。

米国輸出規制（EAR）では、9月に中国通信機器大手に対する輸出規制が強化され、EARの対象の一つ「直接製品」の定義が拡大されました。また、米国国防権限法（NDAA）2019では、予定通り8月に第二段階の措置が施行され、米国政府機関が、特定の中国5社製の通信・監視関連の機器やサービスを利用している企業の製品やサービスを調達することが禁止されました。一方、標的にされた中国側では、12月に輸出管理法が施行されました。当初の草案は、通常兵器関連の国際的義務の履行が主な趣旨でしたが、米中緊張を反映して、報復手段整備の色彩が色濃くなりました。下位規則がまだ制定されていませんが、内容によっては、米国EAR同様に全社レベルでのしくみ化が必要と考えています。

米中を中心とした通商戦争は今後も続くと考えられます。法令の違反や懸念のある調達活動に巻き込まれないためにも、海外の法規制順守にも目を配っていきます。

## 規制物質管理対応

当社分析センターでは、原材料や包装材、製品を対象に、EUのWEEE & RoHS指令をはじめ、各種規制物質の分析を行い、規制に遵守した製品の提供をサポートしています。

### EU WEEE & RoHS 指令 規制対象物質分析

- カドミウム、水銀、鉛、全クロム

主な分析装置：誘導結合プラズマ質量分析装置（ICP-MS）六価クロムは吸光光度法にて測定



- 臭素系難燃剤（PBB<sup>\*1</sup>、PBDE<sup>\*2</sup>）

- フタル酸エステル類

主な分析装置：ガスクロマトグラフ質量分析装置（GC/MS）



※1 PBB：ヘキサプロモビフェニル

※2 PBDE：テトラ、ペンタ、ヘキサ及びヘプタプロモジフェニルエーテル



地球環境の保全に真摯に取り組む

# 生物多様性・社有林

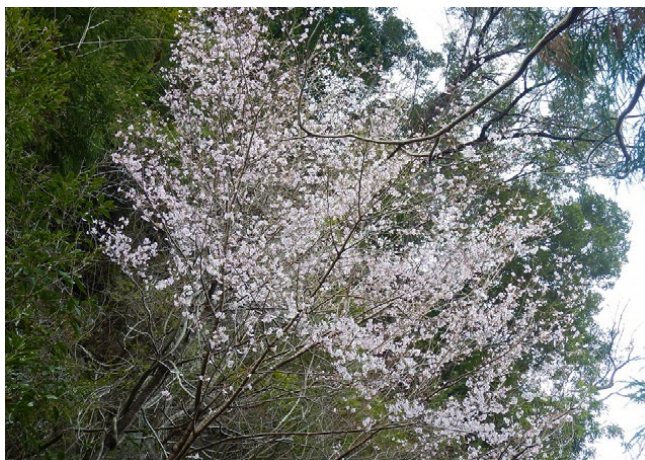


TOMOEGAWA は、長期にわたって安定的に地球環境を守り、育む活動に真摯に取り組む企業であることを志向しています。生態系に配慮した資材調達や環境貢献活動の実施に加えて、世界遺産で有名な熊野山地に社有林を保有し、その保全や育成活動を積極的に行っております。

## 事業運営における生物多様性への取り組み

地球上に存在する全ての生物に対して、企業は事業活動を通じてさまざまな影響を与えており、当社もその例外ではありません。

事業活動を進める企業は、その活動を通じて生態系を含めた環境に与える悪影響をできるだけ小さいものとし、その活動の中から環境保全に良い影響を与えることを見出していくことが、生物多様性への取り組みとされるものです。



クマノザクラ（当社社有林内にて撮影）

\*クマノザクラは、国内の野生種の桜として 2018 年に約 100 年ぶりに新種発見された紀伊半島南部に分布するサクラです。

当社の事業活動によって影響を与える生物多様性への対応として、右記のような取り組みを進めています。



アセビ（当社社有林内にて撮影）



### 1. 持続可能な森林経営

社有林においては、CO<sub>2</sub>の吸収（固定）が長期にわたり可能である長伐期施業を人工スギ・ヒノキを対象に導入し、健全な林内環境作りを目指し的確な管理を行っています。また、自然林も配置することで、生物多様性の保全に繋がっています。

### 2. 責任ある原料調達

機能紙事業部では、木材原料調達を通じた環境保全および持続可能な森林経営の推進を図るため、木材原料調達に関する基本方針として、

- ① 調達する木材原料が合法性・持続可能性の証明されたものであることの確認を推進する。
- ② 森林認証を取得した森林から伐採され、生産された木材原料の調達を推進する。

を掲げ、木材調達を通じて環境保全および持続可能な森林経営の推進に取り組み、一部の製品で FSC® (Forest Stewardship Council®) 認証を得ています。(認証番号 SA-COC-002466 ライセンス番号 FSC® C081650)

さらに毎年 1 回、FSC® の認証機関の立入検査を受け、適切に調達されていることを確認しています。

### 3. 社会的な環境貢献活動

地域の美化活動として、静岡・清水事業所周辺道路などの清掃活動を行っています。  
(45P 参照)

# 生物多様性・社有林

## 社有林での保全活動

森林は、国土の保全、水源のかん養、生活環境の保全、保健休養の場の提供や木材などの林産物の供給等、多様な機能を持っております。TOMOEGAWA は和歌山県、三重県、奈良県の紀伊半島に 3,031 ヘクタールの山林を保有し、優良大径材の「持続生産」と公益的機能の「維持増進」を図り、持続可能な森林づくりを通じて、環境保全や企業価値向上につなげていきます。

### 森林育成活動

森林の育成は長期に亘り、幾重にも作業を行うことで成長した後に木材などの林産物として供給されます。TOMOEGAWA 社有林では、植林されたスギ・ヒノキを対象に下刈り、除伐、間伐などの作業を立木の成長に応じて計画的に行い、健全な森林作りに努めています。

TOMOEGAWA 社有林は、戦後の拡大造林以後に植栽されたスギ・ヒノキ約 55 年生が林齢構成の主な林分です。森林の持つ公益的機能を維持、向上させるためには間伐などの定期的な手入れを行うことが必要で、間伐を行うことにより木々の間隔を緩和し、林内の下層植生の繁茂により生物多様性の維持、増進が図られます。このように適切に管理されたスギ・ヒノキ林の森林吸収源 (CO<sub>2</sub> 吸収量) は、年間約 5,500 t があると算定されます。これは人間 1 人当たり呼吸により排出する二酸化炭素量 (年間約 320kg) の約 17,000 人分に相当する年間吸収量です。世界的な異常気象による

自然災害が各地で発生しており、その要因の一つでもある地球温暖化の問題によって環境保護の意識や森林の重要性が高まっています。

※人間 1 人当たり呼吸により排出する二酸化炭素量 (年間約 320kg) は林野庁資料による。

※間伐とは、木々の成長により林の中が混み合いお互いの成長が阻害される状態を緩和させるため、木々の一部を抜き伐る間引き作業です。



間伐後の明るい林内

近年は、成熟期を迎えつつあるスギ・ヒノキ林を対象に間伐材の搬出を行い、間伐材は地元原木市場に収め建築用材などに利用され、未利用材はバイオマス発電所用の燃料として供給し、地産地消に努めています。紀伊山地は急峻な地形で、間伐材の搬出が難しく、材価の低迷により採算的にも厳しいですが、80～100 年生の伐採時期に向け蓄積された森林を利用促進するため、間伐等の森林整備を主とした森林経営を行っています。



間伐材の搬出

### 地元企業へ木質バイオマス発電用の未利用間伐材供給

社有林が所在する紀伊半島は豊富な森林資源を有していますが、木材価格の低迷などの理由から木材需要が減少しています。

一方、この豊富な森林資源を活用すべく、紀伊半島南部に位置する新宮市において木質バイオマス発電所の建設が進められています。

木質バイオマスとは、樹木の伐採や造材した時に発生する枝・葉などの林地残材や、間伐によって発生した未利用材、製材所などから発生する樹皮・のこ屑・端材、私たちの街の景観を保つ街路樹の剪定枝などの木を燃料として利用します。

木は燃やすと二酸化炭素を排出しますが、成長過程で二酸化炭素を吸収するので、排出と吸収による二酸化炭素量はプラスマイナスゼロになります。そのため、木は環境にやさしいエネルギー資源です。

木質バイオマスによって、エネルギーが有効活用され、循環型社会の形成、地域や林業の活性化に繋がる可能性があります。当社においても、間伐により発生した未利用材供給により、当地域に貢献していきます。



間伐で発生した未利用材



環境に配慮するため業務やデータをしっかり把握

# 環境データ

環境活動の成果により、生産量を維持しながら電力使用量、CO<sub>2</sub>排出量、廃棄物における委託処理量の削減を実現しています。

排水の水質、大気汚染濃度も基準値を維持しています。

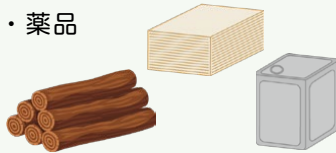
## INPUT・OUTPUT【生産活動における物質収支】

### INPUT

#### 原材料

パルプ・フィルム・原紙・薬品

▶ P.28



#### エネルギー

- ・ 購買電力 1,742 万kwh
- ・ 自家発電 3,812 万kwh
- ・ 重油 104KL
- ・ 都市ガス 11,104 千m<sup>3</sup>

▶ P.31



#### 水資源

用水 886 万t



### 事業活動

#### 製造・開発

静岡事業所  
清水事業所

#### 販売

東京本社



#### 山林管理

新宮山林事務所

#### 二酸化炭素

山林  
CO<sub>2</sub>吸収 0.71 万t

▶ P.29



### OUTPUT

#### 製品

トナー事業・電子材料事業・機能紙事業・新規開発事業

▶ P.12



#### 排気・排水

・ CO<sub>2</sub> 排出量 3.3 万t

▶ P.31

・ 排水量 791 万t

▶ P.31



#### 廃棄物

・ 廃棄物等総排出量 2,402 t

・ うち有価売却数 1,305 t

・ 化学物質

・ 大気汚染物質（ばいじん等）

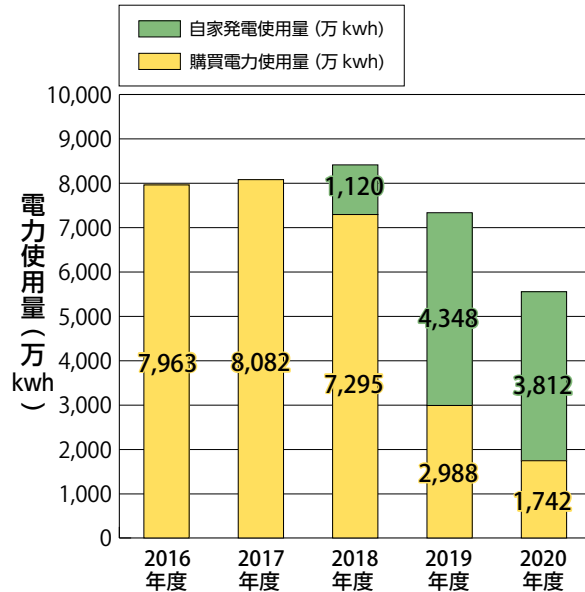
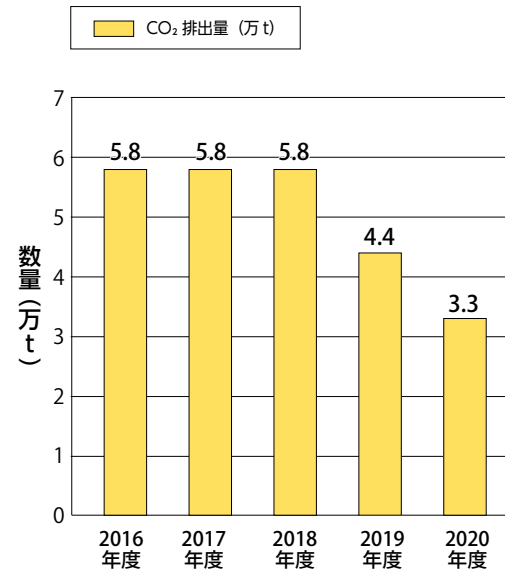
▶ P.31



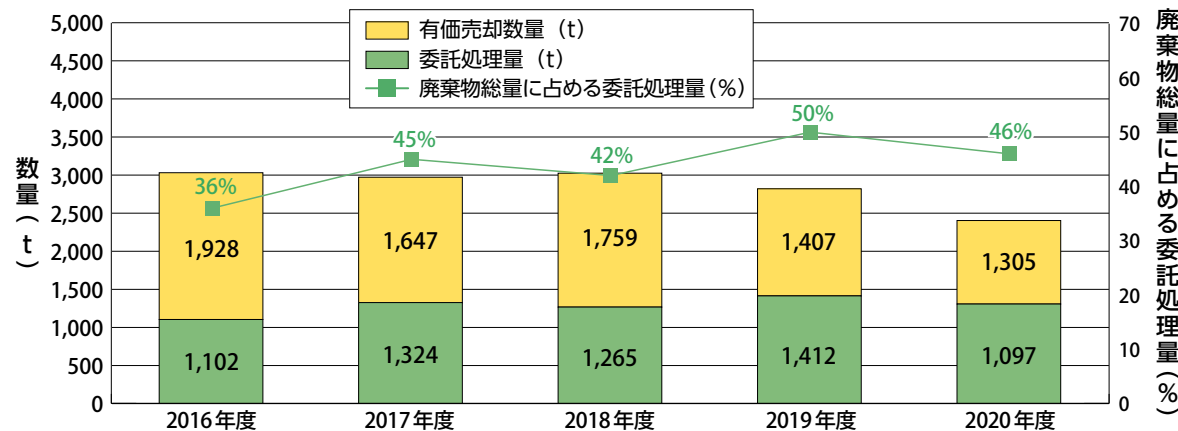
## 環境データ

## 各種環境データ

## ■ 電力量の使用推移

■ CO<sub>2</sub> 排出状況

## ■ 廃棄物の有価売却数量と委託処理量の推移



## ■ ボイラー、PS 焼却炉の排出ガス中の大気汚染物質濃度の推移

ボイラー	基準値	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
ばいじん濃度	0.15g/m <sup>3</sup> 以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
窒素酸化物濃度	150ppm以下	28	40	36	30	28

PS焼却炉	基準値	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
ばいじん濃度	0.25g/m <sup>3</sup> 以下	0.035未満	0.033	0.04	0.115	0.145
窒素酸化物濃度	300ppm以下	52	41	32	29	33
塩化水素	700mg/m <sup>3</sup> 以下	2.4未満	0.7未満	0.8	1.7	1.4

## ■ 静岡事業所の水質推移

	基準値	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
pH	6.8 ~ 8.5	7.2	7.2	7.1	7.2	7.2
SS	30.0mg/L以下	2.4	2.9	2.2	2.3	2.6
BOD	25.0mg/L以下	6.8	5.8	6.7	7.2	4.3

SS：懸濁物質または浮遊物質  
BOD：生物化学的酸素要求量



## マネジメントシステム運用で結果を出す

## ISO

TOMOEGAWA では、世界標準の品質マネジメントシステム (ISO9001) と環境マネジメントシステム (ISO14001) を運用して、お客様や地域の皆様を含むステークホルダーへ、事業活動を通じたご満足を提供するために、業務品質向上と地球環境への配慮向上を継続して行っています。

## ISO マネジメントシステム運用

## 「再発防止」の体制から「未然防止」の体制へ

マネジメントシステムは事業環境に合わせて見直し、運用を行っています。

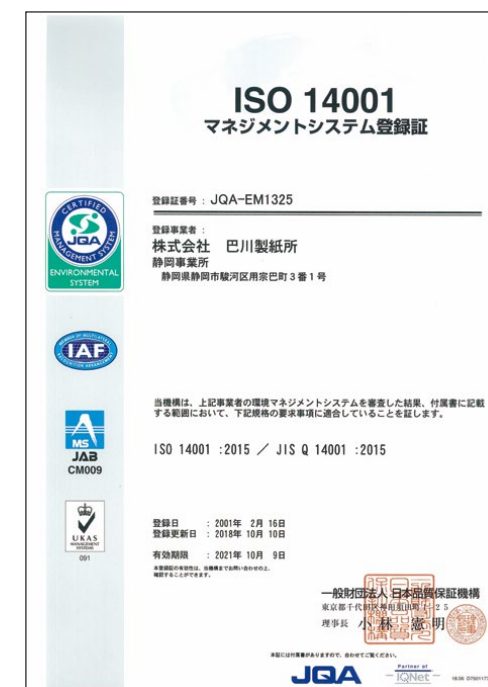
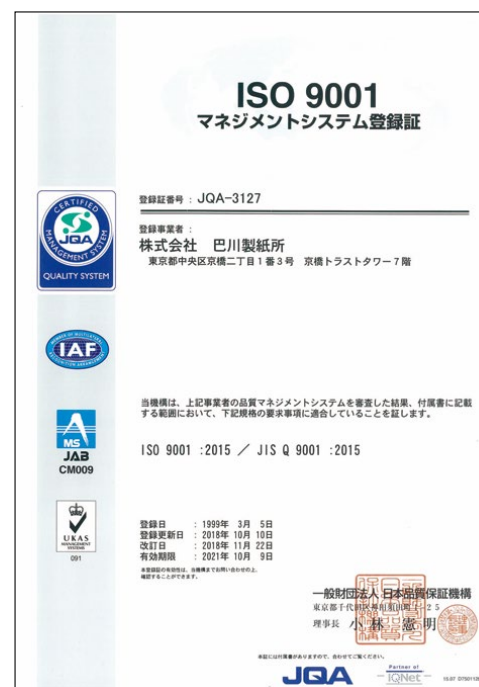
最近、当社では自動車関連の開発や自動車業界のお客様からのお問い合わせが増加しています。これまでのお客様に加えて、新しくお付き合い頂いている自動車業界のお客様に、安心と安全についてご満足頂くため、現在当社のベースとなっている ISO9001/14001 の体制に加えて IATF16949\* に準じる体制作りを会社横断プロジェクトで進めています。



ISO 内部監査員研修 (2019年)

ISO9001/14001 定期審査  
(2019年7月8日)

\*2020年の内部監査員研修は、すべてリモートにて実施しております。



## ISO9001:2015、ISO14001:2015 の登録証

NEW  
WORD

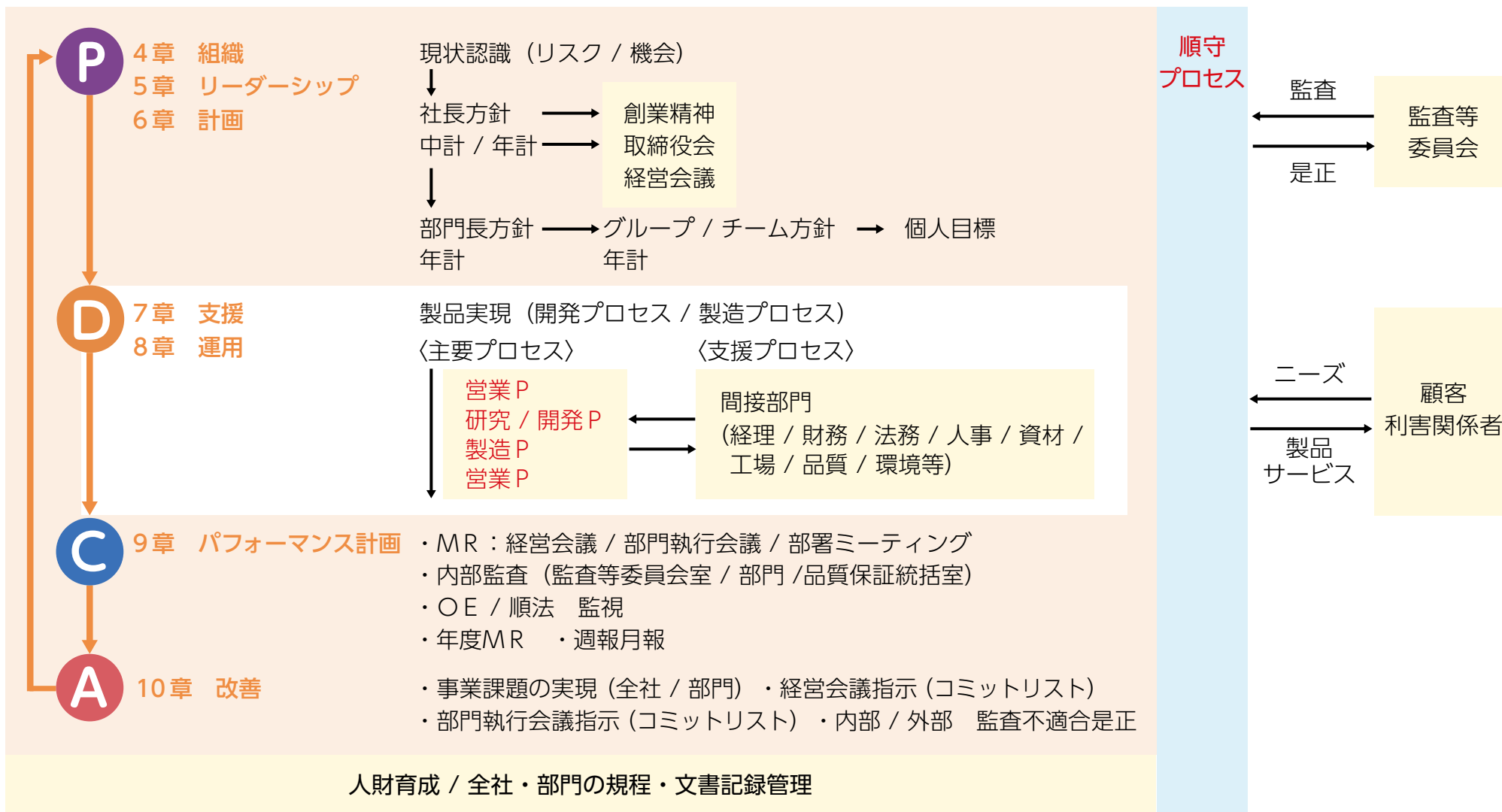
※ **IATF16949** …IATF16949 は IATF (国際自動車産業特別委員会) が作成したものであり、その内容は「欠陥の予防」と「バラツキとムダの削減」を達成するための自動車産業の国際的な品質マネジメントシステムとなっています。ISO9001:2015 が前提にあり、セットで運用されます。

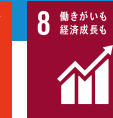


## 消費者課題

## ISO マネジメントシステム運用

## 当社マネジメントシステムの体系図





働きやすい職場、やりがいのある仕事で従業員が自己実現

# 人財育成

TOMOEGAWA では、事業運営の根幹は「人財」にあるという考えの下、企業の継続的発展と新たな成長領域にチャレンジできる人財の育成を行っています。従業員が自主的に自己啓発や能力開発に取り組み、各人の自己実現を達成できるよう、きめ細かな仕組みを整え、必要な支援を実施しています。

## 人材 = 人財 = 当社一番の「宝物」

当社が掲げる創業精神の第一項に「誠実：我々は事業に対しても人に対しても誠実を旨とする」とあります。

この「人に対する誠実」の一環として、当社は「一流人財の育成」を目指し、人財育成の取り組みを強化し、2020年度も継続して人財育成に取り組みました。今後も“前向きな人への投資”を継続し、「一流人財の育成」を一層手厚く行っていきます。

### 人財育成 / 教育制度

当社では、「一流人財の育成」のため、OJT での人財育成を中心に、Off-JT 研修として、各種階層別研修の他、職種別、テーマ別の研修やグローバル人財教育を実施するなど、目的に応じた人財育成体系を整えています。また、自己啓発の支援を積極的に行い、従業員一人ひとりの成長をサポートしています。

#### 教育体系図

	OFF-JT				自己啓発支援
	階層別研修	職種別専門スキル研修	テーマ別研修	グローバル研修	
管理職	マネジメント研修	特許・知財研修 法務研修 設備・生産系研修 研究開発系研修 経理・財務研修 営業研修 キャリア開発研修	コンプライアンス研修 メンタルヘルス研修 創業精神・理念浸透	海外要員教育 語学教育	通信教育 資格取得支援
	新任管理職研修				
中堅社員	管理職任用前研修				
	主任マネジメント研修 リーダーシップ研修				
若手社員	OJT 指導者研修				
	若手社員研修				
新入社員	新入社員フォロー研修				
	新入社員研修				

### グローバル人財の育成

現在当社では、海外要員制度と称して、海外駐在員、または海外サポート要員として従事可能な人財の育成に力を入れ、英語や中国語をはじめとする語学教育及びグローバル人財教育をサポートしています。

また、海外で採用した外国籍の社員が日本でも活躍できるよう、日本語学習のサポートも行っています。2020年度は、2名の外国籍社員が、海外要員として日本語学習に励んでおり、日本語能力試験1級(N1)に合格するなど、大いに成果を上げています。

この海外要員制度を卒業し、実際に海外関連業務に従事する者や、海外赴任する従業員も複数存在しています。

今後も国内外で活躍できる人財の育成に努めてまいります。

### 自己啓発の支援

従業員の自己学習への支援の一環として、通信教育講座を開講しています。語学、ビジネス、資格取得など幅広い分野の講座を開講しており、講座の修了者には補助金を支給しています。従業員のニーズに対応した、講座の選定や運営に努め、1人でも多くの従業員にとって活用しやすい制度を目指して、継続的な改善活動を行っています。

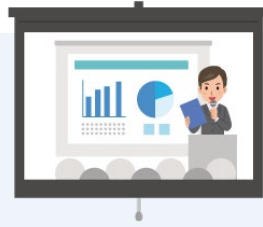


# 人財育成

## 人材 = 人財 = 当社一番の「宝物」

### ZOOM UP

## 研修受講者の声



### OJTトレーナー研修

当社では、新入社員それぞれに対して、各職場の先輩社員1名が「OJTトレーナー」を担当し、新入社員の育成をサポートする仕組みを整えています。

2020年度も、新入社員のOJTトレーナーとして任命された社員を対象に、「OJTトレーナー研修」を実施し、新入社員との関わり方や、OJTトレーナーの役割・心構えについて理解を深めました。

2020年度はコロナ禍ということもあり、オンラインを活用し、感染対策を十分にとった上での実施となりました。

### 受講者の声

- 初心を思い出す良い機会になった。
- 周りを巻き込みながら新入社員を育てるよう心掛けたい。
- OJTトレーナーとしての役割や心構えを理解し、再確認できた。
- 他のトレーナーとの話を通じ、新入社員にもさまざまなタイプがいることが分かった。新入社員の個性に合わせた指導方法とは何か考える良い機会となった。
- 新入社員の目線に立って、本人のモチベーションを高められるような指導をしていきたい。
- 初めてOJTトレーナーを務めることになり、悩みや不安も多かったが、他のOJTトレーナーの意見も聞ける良い機会だった。
- オンラインでも問題なく受講できた。



### 自律的キャリア開発の支援

従業員一人ひとりが能力を高め、継続的に高い成果を生み出す組織を実現することを目指し、2018年よりキャリア開発制度を導入しました。キャリア開発シートの作成や面談を通じて、従業員の長期的キャリアプランや望む働き方について上長・会社と共有しています。従業員それぞれのキャリアプラン実現を目指し、部署異動を含めた育成計画の立案など、会社としての支援を更に強化していきます。

# 人財育成

## 人材 = 人財 = 当社一番の「宝物」

### ダイバーシティへの取り組み

当社では、ダイバーシティへの取り組みとして、雇用や人事に関して、人種、国籍や性別、年齢、障がいの有無などで差別的な扱いをせず、均等な雇用の機会を提供し、多様性を尊重する風土づくりに努めています。

### 採用の考え方

当社の採用選考にあたっては、オープンに情報提供を行い、工場見学会の実施や個別面談などを通して、相互理解に努めています。納得した上で入社を決定できるような体制をつくり、入社後に安心して働ける環境づくりに採用活動時から努めています。

特に2020年度は、WEBを活用した、面談や社員との座談会、工場見学等を実施し、コロナ禍でも相互理解ができる採用活動に努めました。

### 通年及び Job 型採用の実施

当社は新規卒者一括採用にとらわれず、柔軟な採用活動に努めています。

新卒採用においては、秋入社をはじめ柔軟な入社時期を設定し、海外大学への留学生や外国籍人財の入社に対応しています。

また、特定のスキルを有する人財を募集する中途採用の場合も、国籍・性別にとらわれず、通年で募集しています。

### 女性活躍を目指して

当社の新卒採用では、従来女性の応募者数が少なかったこともあり、採用人数に男女差がありましたが、近年は大幅に改善されています。2016年度から2020年度までの直近5年間では、新卒採用者に占める女性の割合は4割を超えています。

今後も、それらの女性が活躍しやすい環境づくりに努め、性別にかかわらず活躍できる会社を目指します。

入社年度	全体	うち女性
2020年度	7名	1名
2019年度	13名	8名
2018年度	21名	9名
2017年度	7名	3名
2016年度	5名	2名
合計	53名	23名

### 高齢者の継続雇用

当社では、定年退職者の継続雇用制度を導入しており、希望する全定年到達者を再雇用することとし、従業員のニーズに応じています。また、ベテラン従業員の持つ豊富な経験・知識を活かし、技術やノウハウの若い世代への伝承や、後継者の育成に取り組んでいます。

人生100年時代と言われる現在、働き甲斐のある職場を定年後も提供し続けていくことが重要となります。今後も長く安心して働き続けることのできる環境づくりに努めてまいります。

### 障がい者雇用状況

当社は、障がい者の職業生活における能力発揮・自己実現の場を安定的に供給することを目指し、継続的に障がい者雇用に取り組んでいます。現時点で当社の障がい者雇用状況は、法定雇用率2.3%には若干届いていませんが、ほぼ対応した人数となっており、法定雇用率を上回るべく活動に取り組んでいます。

今後も、企業の社会的責任を果たすべく、ハローワークへの求人募集をはじめ、支援センターなどネットワークを利用して、継続的に採用活動に努めるとともに、障がい者の職業生活における能力発揮・自己実現の場を提供し、安定的に安心して働くことのできる環境づくりを進めてまいります。

### 労使の協調

当社では、昨今の厳しい国際競争の中、企業の存続と成長のために必要な諸施策を迅速かつ継続的に実行しなくてはならない経営環境にあります。

このような状況の中にあっては、労使の協力体制をもって課題を克服していくことが重要であり、その基盤づくりとして労使の相互理解と共通認識をより深めることがますます重要になっています。そこで、経営陣と労働組合との対話の場として、定期的な「労使会議」を実施し、労働環境のほか経営状況や施策などについても真摯に意見交換を行っています。



## 全員参加の改善活動の推進

# 改善活動

TOMOEGAWA では現場主体の改善活動はもちろん、部門間、グループ会社間で協力し、お客様の満足度向上の観点から、改善活動をたゆまず続けています。全員参加の活動とすることで、「企業体質の強化」と同時に「風土改革」も合わせて目指しています。

## TOMOEGAWA グループでの改善活動

### 改善活動の推進

2020 年度も 5S (整理・整頓・清掃・清潔・しつけ) の観点での職場改善や定置化、分かり難い作業の見える化、作業の標準化等、作業効率を上げる改善活動が数多く行われました。

2019 年度までは、従業員が一堂に集まる社内コミュニケーションの場である「総合夕会」で改善活動の褒賞を行っていました。2020 年度はコロナ感染対策のため、総合夕会の開催を見合わせたことにより、従業員が一堂に会する場での表彰の機会を設けることができませんでした。秀逸な改善提案が多くあり、褒賞の場を設けて欲しいとの声から事業部単位での表彰を行いました。

今後もお客様の満足度向上の観点から積極的な改善活動を推進していきます。



清水事業所電子材料事業部での表彰式の様子

### 構内移動時の「探す手間」を削減する取り組み

当社の主要製造拠点である静岡事業所には、複数の製造ラインが集中しています。そのため、多くのお取引様が配送や集荷のため構内を移動されます。構内移動時の目的地を探す手間を削減できるよう、建屋ナンバーを付ける、ルートの色分けし、道路への表示、標識として掲示するなど、分かり易くする取り組みを行っています。



ルート色分と道路への表示



建物ナンバー



標識



## 改善活動

### 虫の目プロジェクトを活発に展開中



2019年7月から活動を始めた虫の目プロジェクト。

虫の目というのは、虫が「複眼」という一つのことを多角的に見ることができる目を持つことに由来して名付けられました。木にピッタリとはりついた虫のように、費用が計上される過程や結果をいろいろな視点から詳しく見ていくことで、活き金を生み出せるような発見をしていきたい、という思いで作られたプロジェクトです。

発足以降、巴川製紙所、新巴川加工、巴川物流サービスの経理担当者を中心に、身近な気付きをアイデアとして積み上げるとともに、活き金創出に向けた活動を行っています。

### 受付時の「探す手間」を削減する取り組み —納品・引取予定連絡—

静岡事業所への納品や集荷のために、来場されるお取引様は多数にのぼります。静岡工場内は、建屋数も多く、受付から、構内移動まで時間がかかることも多くありました。そこで、「探す手間」を省き、お取引様と当社の業務の効率化を図る改善を行いました。

納品や引取がある場合、内容、場所、担当者をあらかじめ登録できるデータベースの運用を2020年12月より開始しました。守衛受付時にかかるお取引様確認のための手間、当社担当側を探すための手間を削減しました。

「システムの運用により、来場されるお取引様の8割程度を把握でき、対応がスムーズになった」、「宛先不明の問い合わせ数が減った」など、効率化が図られています。

### 活き金創出に向けた有意義な活動を継続中

当社製品である「エコクリスタル」での名刺作成の内製化、事務用品消費費のコストダウンなど活き金創出に向けた活動を継続して行っています。活動の1つに「社内不用品マーケット」という、社内の不用品を一括管理し、他部署での有効活用を目指す取り組みがあります。

今後も業務フローの見直しや、社内資産の有効活用に向けた取り組み等、活き金づくりに向けた活動を全社に横展開しながら進めて行きます。

### 開発本部での改善活動

開発本部（機能紙開発グループ・粘接着開発グループ・部品開発グループ・新規技術推進グループ）や分析センターでも、より良いモノづくりのために、開発の生産性を改善するTPM（Total Productive Maintenance）活動を進めています。

2020年度は実験室の5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を中心に取り組みました。材料・サンプル・実験器具類の5Sは開発スピードにも大きく影響を与えます。各開発グループ内で現状の問題点を抽出し、他グループからの実施事例、改善案を取り入れることで、開発部門内で「混ぜる活動」をしました。その中でも、整頓の基本である「置く場所を定める」・「置くものを定める」・「置く量を定める」活動が進みました。

また、5Sに取り組む意識付け・習慣づけを行う等、5S活動を継続して根付かせる工夫も行っていきます。



備品の定置化

### ZOOM UP 新巴川加工(株) 機能紙製造課での取り組みを紹介

#### 「機能紙新聞」創刊！！

課内のコミュニケーションツールとして、新聞を毎月発行しています。改善提案の紹介に加え、安全道場の活動の様子、お子さん誕生やペットの紹介等、ほっこりする仲間の情報も取り上げています。

#### 安全道場

新たな訓練内容や、訓練の様子を紹介しています  
(安全道場 42P)

#### KAIZEN NEWS

改善活動の様子、改善提案内容を共有しています

#### topics

職場のほっこりする様子などを取り上げています

#### ♡ Happy ♡

職場の仲間のハッピーをお知らせしています





安全最優先の徹底でゼロ災へ

# 安全・防災・BCP

TOMOEGAWA では、「安全最優先の徹底」を重要課題に掲げています。経営トップから現場職場まで、かつ国内・海外のグループ会社も含めたグループ全体で、全員参加による無災害の「ゼロ」災活動、「ゼロ」災職場の形成を目指した安全活動に取り組んでいます。また災害時の対応や BCP にも注力しています。

## 安全衛生の取り組み

### 労働災害の推移

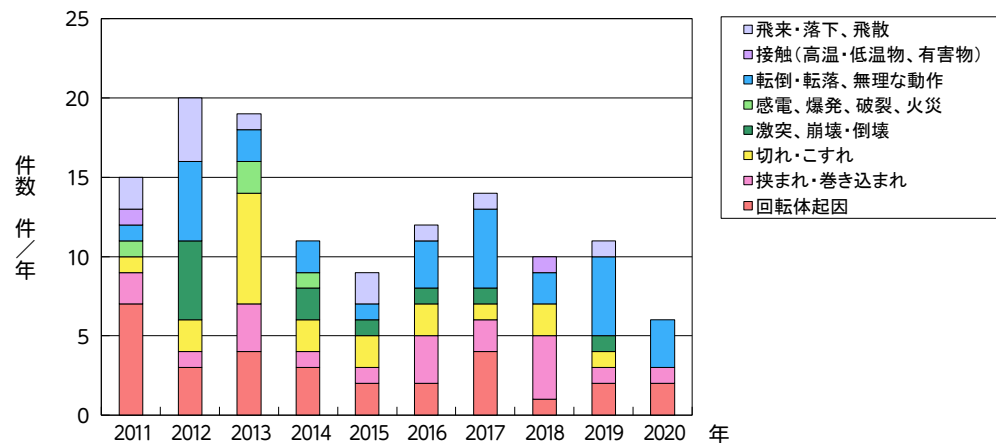
TOMOEGAWA グループの労働災害は減少しつつあります。全員参加の安全活動が根付いてきました。

2020 年の災害発生要因は、「転倒・転落」（無理な動作を含む）が多数でした。

転倒災害の要因としては、職場環境が危険な状態で放置されていたり、不安定な状態で荷物を運ぶなどの不安全な行動であったり、高齢化に伴う運動機能の低下によるものなど、さまざまです。

特に、濡れた場所・階段や段差・片付けられていない場所は転倒リスクが高くなりがちなので、ポイントを絞って改善を進めていきます。

TOMOEGAWA グループの労災発生状況（統計年、2011 年～2020 年）



### 安全衛生活動の展開

#### 安全衛生活動① 本質討議の場

安全で快適な職場作りを進める上で重要な会議体は、安全衛生委員会と安全審議委員会です。各事業部の製造グループマネージャーは両委員会に参加します。中核である製造部門を軸に安全衛生の本質審議・討議、指導・監督を行なっています。

安全審議委員会は発足して 4 年目になります。本委員会は、「安全の最優先」に対する意識改革、発生した労災の再発防止および労災発生部門に対する指導・監督・是正勧告を行います。



安全審議委員会の活動の様子

#### 安全審議委員会の役割

- ・部門の立場を越えて、労災是正の審議と再発防止を指導
- ・労災発生部門の原因と対策を審議・討議
- ・労災発生の原因と対策の迅速化（発生後 2 週間以内）
- ・3 管理（作業環境・作業・健康）に潜在する課題掘り下げ
- ・部門ごと立案の年次安全計画案の審査・進捗管理
- ・実施結果の評価
- ・経営会議に安全衛生活動の進捗状況報告、意見具申

# 安全・防災・BCP

## 安全衛生の取り組み

### 安全衛生活動② フォークリフト講習会

フォークリフト講習会は、運転者への安全運転訓練、物損等事故者の再発防止教育、スタッフへの安全教育の場です。特に運転者は、数名単位で指導の行き届く訓練にしています。

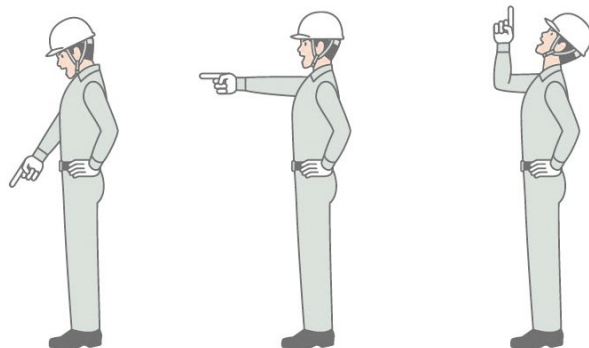
指導員育成も始めています。指導員には公的検定試験の合格・教官の承認・総括安全衛生管理者の承認と、幾つものハードルがあります。運転者に正しい運転技能（乗車・正しい運転・降車）を伝授する立場から、技能・意識の高い方が候補者です。

2019年に6名が自社指導員に認定されましたので、2020年からは自社指導員が講師役となり、毎週フォークリフト講習会を実施しています。

当講習会を通じて、事業所内のフォークリフト安全文化を築いていきます。



フォークリフト講習会の様子



### 安全衛生活動③ 改善活動

職場の不安全状態は、安全提案等を受けて修繕工事を行っています。2020年は自職場での改善活動として積極的に取り組みました。

- ・フォークリフト作業範囲の塗装
- ・構内通路凹凸部の舗装
- ・グリーンベルト、横断歩道の塗装
- ・構内通路カーブミラーの新設



新設されたカーブミラー



フォークリフト作業範囲の塗装



## TOMOEGAWA 総合安全協力会

TOMOEGAWA 総合安全協力会とは、当社事業場内に常駐している生産部門、保守保全部門、運搬部門などに携わる企業で、事業場の安全衛生について協議をしている団体です。

TOMOEGAWAや新巴川加工、巴川物流サービスなどのグループ企業の他に、協力企業を合わせた28社（2020年度）で構成されています。

2020年度は新型コロナウイルスの影響により、外部への見学会や構内安全パトロールなどの活動は見送りました。



# 安全・防災・BCP

## 防災の取り組み

### 事業所の防災（静岡県）

#### 静岡事業所

2020年6月に実効性のある防災活動及び防災力の強化を目的として、工場防災委員会を立ち上げました。工場防災委員会で内容検討を行い2020年12月16日に静岡事業所にて、従業員の安否確認及び各部署で作成した避難行動基準並びに避難経路の確認等を目的として総合防災訓練を実施しました。

今回の訓練では、内容を3つのステップに分け、ステップ1（地震直後の行動）では、身の安全の確保の訓練、ステップ2（避難）では、各職場の避難経路確認並びに一次避難場所への避難の訓練、ステップ3（安全確認）では、避難場所での自職場点呼、安否確認メールの返信に重点を置いて訓練を行いました。また、災害対策本部では従業員の安否確認情報を迅速に収集する事を目的として、安否確認システムによる安否確認メールの返信集計結果の確認を実施しました。

本部隊の消火班については、災害発生時に対応出来るように、年3回消防車の取扱いと、防火水槽確認等の部分訓練を継続して実施しています。部分訓練については、水消火器を使用した初期消火訓練を積極的に進めています。火災はいつ発生するか判らない事もあり、火災発生時にその場にいる誰もが対応できるように、各職場の従業員を対象に消火器の取り扱い訓練を実施しています。

#### 清水事業所

2021年3月26日に清水事業所にて、従業員の安否確認及び各部署で作成した避難行動基準並びに避難経路の確認等を目的とし、地震による浸水被害を想定した総合防災訓練を実施しました。静岡県第四次被害想定では、レベル2（南海トラフ巨大地震）の地震が発生した場合、清水事業所は津波浸水区域となっています。清水事業所では、この被害想定を踏まえて、総合防災訓練を実施しています。

訓練は、静岡事業所と同様に内容を3つのステップに分け、ステップ1地震直後の行動、ステップ2避難、ステップ3安全確認と位置づけて実施しました。消火班については、屋外消火栓を使用した放水訓練を行っています。部分訓練についても、静岡事業所と同様に各職場の従業員を対象に初期消火訓練を実施しています。

また、清水事業所はすぐ側に流れている巴川の氾濫に備えて水害対策を進めています。



各職場の点呼



災害対策本部での訓練



屋内での点呼の様子



初期消火訓練



初期消火訓練



消火班による放水訓練



消火班の訓練



水害対策訓練

# 安全・防災・BCP

## 防災の取り組み

### 本社の防災（東京都）

#### 東京本社

2020年10月19日に、本社のある京橋トラストタワー内にて防災訓練を実施しました。

前年は、京橋トラストタワー防災センターが中心となり、当社を含めビルのテナント19社が参加しましたが、2020年度はコロナ禍のため、全館一斉の合同訓練は行わず、各フロアごとに個別訓練を実施することになりました。

当社は事務所内で訓練後、非常階段を1階まで降りて避難する訓練を実施しました。



## BCPの取り組み

当社は、自然災害・テロ・地震・火災等の緊急時においても、早期に復旧し事業を継続するために「事業継続計画」(Business Continuity Plan : BCP)を整備し、継続的に見直しを行っています。

特に2011年3月の東日本大震災以降、主要事業および製品の優先復旧順位を再検討し、必要な原材料のリストアップ、原材料メーカーへの震災時対応の調査確認、リスク分散のための海外生産を含めた生産拠点の分散化を進めてきました。

しかし、想定される幅広いリスクに対し、実際の対策が機能していくためには、現行体制のブラッシュアップが欠かせません。これらを推進するための組織的な対応など、必要な検討を進めていきます。また、新型コロナウイルスの感染が収束しない状況下において、感染症を想定したBCPについて、整備が急務であると考えています。

## ZOOM UP 新巴川加工(株)機能紙製造部の事例

### 「安全道場」で安全意識を醸成

近年配属された若い従業員は、とすれば小さいころから工具など扱っていない人も少なくありません。そこで、「安全道場」と銘打った活動を継続して行っています。基本となる工具の知識や使い方、安全意識を醸成する場となっています。

訓練内容は、現場で実際に対応する作業や想定されるトラブル等定期的にはリニューアルされています。2019年から自主的な活動をスタートし、現在では講師役を育成しながら活動を継続しています。



#### 訓練内容紹介



危険体感機を使っての、歯車に挟まったウエスの取り外し作業の安全訓練の様子です。回転体に触れる場合、どんな危険があるのか、どんな点に注意したら良いのか、講師の説明を受けながら自分で考え体験していきます。



安全な職場づくりにはコミュニケーションも重要です。共に働くメンバーが仲間意識を強めて、ささいなことも伝えあえるよう日頃からのコミュニケーションは欠かせません。よりよいコミュニケーションが取れるよう、ポイントを伝え、ロールプレイングを行っています。



地域を駆ける、地域に架ける

# 地域社会貢献

TOMOEGAWA では、積極的な交流・対話を通じて、事業活動への理解を深めていただくとともに、地域社会の活性化に向けてさまざまな取り組みを展開しております。TOMOEGAWA がその地域にあることにより、ステークホルダーの皆さまに愛される企業を目指して活動しています。

## 地域貢献活動

### 清水エスパルスをサポート

当社は、広告協賛等を通じて、Jリーグ「清水エスパルス」のサポートを長年続けています。これは、清水エスパルスの基本理念や地域に密着した活動に賛同したことによります。

2021 年度も、引き続き清水エスパルスのホームグラウンドである「IAI スタジアム日本平」に TOMOEGAWA のアドボードを掲出し、清水エスパルスを応援します。



IAI スタジアムでのホームゲーム



TOMOEGAWA アドボード



### 女子フットサルチーム golrira shizuoka の支援

当社は 2019 年度末、静岡市に拠点を置いて活動している golrira shizuoka（ゴリラ静岡）のスポンサーとなることを決定しました。

同チームは 2007 年設立、創立 1 年目で静岡県女子フットサルリーグに優勝し、翌年より東海女子リーグに昇格、現在東海女子 1 部リーグに所属している強豪チームです。

新型コロナウイルスの影響により、残念ながら 2020 年シーズンは試合数減となりました。成績は 4 勝 2 分け 1 敗と、3 位の好成績でした。

残念ながら 2021 年度の新シーズン開催は、新型コロナウイルスの影響で見通せない状況ですが、今後も地域のフットサル活動を支援していきたいと思っております。



golrira shizuoka メンバー

golrira shizuoka のホームページはこちら → <https://golrirashizuoka.amebaownd.com/>



# 地域社会貢献

## 地域貢献活動

### フットサル部 TOMOEGAWA iCas

2020年度静岡県中部地域フットサルリーグは、コロナ禍ということもあり、全9試合中2試合は中止という形になりました。

難しい状況の中、感染予防に配慮しながら活動を継続し、5勝2敗の2位と過去最高の成績を収めることができました。経験豊富なベテランと若いフレッシュな新メンバーが上手く融合し、勝てるチームに仕上がってきました。

今シーズンは中部リーグの優勝と県リーグ昇格を目指して頑張りますので、今後とも応援よろしくお願いします。



TOMOEGAWA iCas メンバー

### 2020年度の試合結果

節	開催日	会場	対戦相手	
1	9月20日(日)	清水総合運動場体育館	TOMOEGAWA iCas 2	VS ○ PROVA FUTSAL CLUB 1
2	11月7日(土)	清水総合運動場体育館	TOMOEGAWA iCas 3	VS ○ PEACH 0
3	8月22日(土)	清水総合運動場体育館	TOMOEGAWA iCas 3	VS ● LaBOLA 静岡 4
4	1月11日(月)	清水総合運動場体育館	TOMOEGAWA iCas 8	VS ○ YAZAKI Futsal Club/Over30 1
5	10月3日(土)	清水総合運動場体育館	TOMOEGAWA iCas 3	VS ○ 東海大静岡翔洋高フットサル部 0
6	11月21日(土)	清水総合運動場体育館	TOMOEGAWA iCas 1	VS ○ SUPEL NOVA/FUTSAL CLUB 0
7	1月24日(日)	清水総合運動場体育館	TOMOEGAWA iCas 2	VS ● SDT 4

成績：7試合5勝2敗(2位)

### 2020年公式戦スナップ



## 地域社会貢献

### 地域貢献活動

#### 近隣地域との交流

ステークホルダーである近隣地域の方々との交流も、大切な企業活動のひとつです。当社は近隣地域の活動にできるかぎり参加しており、近隣住民の方々との触れ合いを大切にしております。また、それらの参加を通して、近隣地域の盛り上がりに一役買っていきたいと考えています。

#### 工場見学の受け入れ

当社は、顧客の皆さまのほか、近隣の団体や学校、住民の工場見学を受け入れています。2020年度は、コロナ感染拡大抑止を考慮し実施することは叶いませんでしたが、例年2月には、聖隷クリストファー大学 看護学部生の地域保健実習のため、工場見学を受け入れています。2019年度も、一般見学ルートである抄紙工程や、2018年にリニューアルしたショールームを見学した他、当社産業医による講話を行っています。



大塚産業医、家里看護師より診療所業務を説明  
(2019年2月 静岡事業所)



#### 道路愛護団体としての活動

毎月、静岡事業所、清水事業所の両事業所において、地域貢献活動の一環として、清掃奉仕活動を実施しています。工場周辺の美化維持のため、静岡事業所では第3水曜日、清水事業所では第2金曜日を一斉清掃日として工場周辺の道路・歩道等を清掃しています。このような活動が静岡市の「道路サポーター制度」に登録され、事業所周辺地域の美化活動の一助となっています。



毎週第3水曜日に清掃を実施（静岡事業所）

#### 献血活動

当社は、定期的に献血活動に協力しています。2020年度は、徹底した新型コロナウイルス感染症対策が行われる中、8月と12月に実施されました。

輸血用血液の在庫量を適切な水準で維持していくには、毎日13,000人の献血者の協力が必要になるそうです。今後も継続して献血活動に協力していきたいと思っております。



静岡事業所での献血の様子（2020年12月15日）

## その他

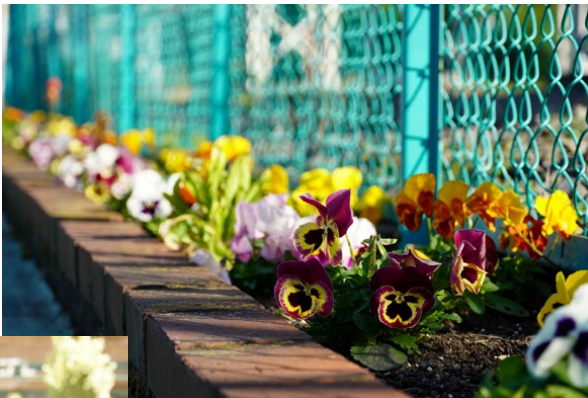
### 花プロジェクト —TOMOEGAWAを明るく元気に!!—

2020年11月、社内を明るく元気に!!と花を植えるプロジェクトが静岡事業所で始まりました。コロナ禍で気持ちがふさがちな状況下でも、花を見ることで、気持ちが明るくなるように、ポジティブになれるようにと、活動が広がっています。2021年3月からは、清水事業所でも活動が始まりました。

このプロジェクトは、TOMOEGAWA社員の自発的な活動です。メンバーもグループの垣根なく集まっています。3月末までに、植え付け作業等の活動は7回実施されました。殺風景だった構内の通路に、色とりどりのパンジーが咲き、入場門や事務所入り口には寄せ植えが置かれています。

「毎回の参加は難しいけど、今回だけでも」、「朝の始業前の水やり」、「摘花」等、できることをできる範囲でと参加するメンバーも増え、毎回、和気あいあいと笑顔と笑い声があふれる中活動しています。

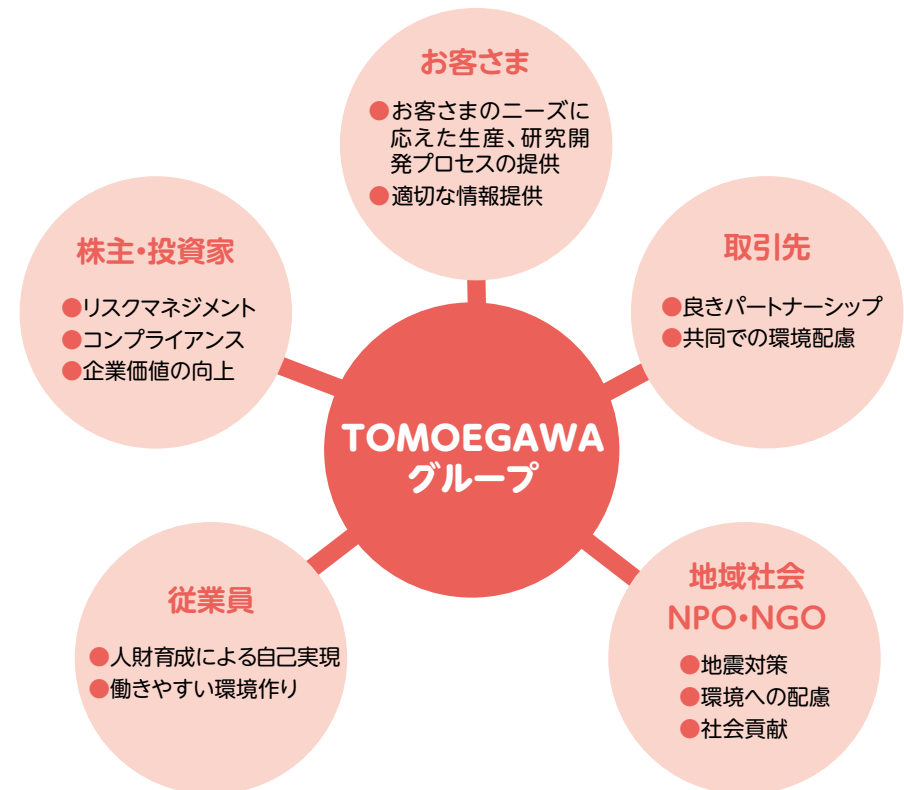
花から、そしてプロジェクトのメンバーからも社内に、笑顔と元気が届けられています。



### 私たちが考えるステークホルダー

私たち TOMOEGAWA グループは、お客さま・株主さま・取引先・地域社会・従業員など、事業活動に直接関係する方々に限らず、社会との接点になる団体・官庁・企業・個人なども含め、すべてをステークホルダーとして捉えています。

TOMOEGAWA グループは、これらステークホルダーの皆さまに対して、積極的なディスクロージャー（情報開示）を行っていくことはもちろん、皆さまとの対話を通じて、より良い関係の構築に取り組んでまいります。



## その他

### 編集メンバー紹介



齊藤 秀彰（編集長）  
業務本部副部長  
兼 コンプライアンスグループ

編集メンバー全員で力を合わせ、力作ができたと思います。当社の取り組みをご理解いただけますと幸いです。



秋田 奈美  
経営戦略本部 企画グループ

見やすい、わかりやすい誌面作りを目指して、今年も参加させていただきました。多くの方にご覧いただきたいです！



市野 城太  
業務本部 人事グループ

昨年に続き今年も参加させていただきました。コロナ後も見据えた当社の活動をぜひご覧ください！



深谷 和彦  
技術本部 設備技術グループ

私たちを取り巻く環境は否応なしに変化していきます。果たして1年後は？楽しみでもあり恐ろしくもあり。



辰橋 史一  
品質保証統括室 品質・環境グループ

巴川のちょっとしたところが伝わりましたでしょうか？興味を持っていただけたら幸いです。



伊駒 英祐  
業務本部 総務グループ

昨年に引き続き、編集メンバーとさせていただきます。巴川の活動が分かり易くお伝えできれば幸いです。



坂口 真優  
経営戦略本部 企画グループ

今年から編集委員に参加させていただきました。誌面を通じて多くの方に当社の魅力が伝わると嬉しいです。



前田 昌宏  
業務本部 コンプライアンスグループ

「読むから見る」を目指して、さらにわかりやすい紙面作りを取り組んでいきたいと思っています。



中川 兼一  
業務本部 コンプライアンスグループ

当初はコロナ禍で誌面が埋まるのか心配でした。実際は各職場でさまざまな活動が進行し、「変革を加速」させています。それらを感じとっていただければ幸いです。



海野 英子  
業務本部 コンプライアンスグループ

当社の取り組みに興味を持っていただけたら嬉しいです。自分自身も積極的に「変革」していけると良いなと感じました。

### 表紙について

本年度の表紙は、パラリン・アートの作品を採用いたしました。パラリン・アートとは、障がい者が創作するアートを活かして、障がい者の社会参加と経済的自立を推進する活動のことです。一般社団法人 障がい者自立推進機構が運営しています。

3,900件近くあるアート作品の中から、編集委員がTOMOEGAWAのイメージに合うような作品を選ぼうということになりました。本当にすばらしい作品が多く、選考は大変でしたが、反面楽しい作業でもありました。

本作品については、自然豊かな地球をイメージさせる、色合いが明るい、希望に満ちている、安らぎを感じさせるというようなコメントが寄せられています。



「the earth」  
作者：mist



**TOMOEGAWA** 株式会社 巴川製紙所  
社会・環境報告書 2021

【お問い合わせ先】  
業務本部 コンプライアンスグループ  
〒421-0192 静岡県静岡市駿河区用宗巴町 3番 1号  
<https://www.tomoegawa.co.jp>

熱・電気・電磁波 コントロール材料イメージキャラクター「iCas マン」